



Japanese Association for Women in Sport

第 3 回世界女性スポーツ会議

2002 WORLD CONFERENCE ON WOMEN AND SPORT

MAY16-19,2002

MONTREAL, CANADA

ツールキット

TOOL KIT

翻訳：山口理恵子 (JWS 会員)

E d i t i o n 2 b y 2 J W S

モントリオール・ツールキット

目次

謝辞

序文

モントリオール・ツールキットの使い方

第1章：変革を主張するためのツール

1. ジェンダー・エクィティに関する事例づくり	6
2. ジェンダー・エクィティの理解	10
3. 主張戦略の作成	14
4. 連携, 同盟, パートナーシップの構築	17
5. メディアのための性差別のないスポーツ解説	20
6. 宣言と議決	23
7. ブライトン宣言の承認	27

第2章：組織, システム, 構造を変えるためのツール

8. コモンウェルスゲームズ連盟：組織的な変革の事例研究	29
9. 国のジェンダー・エクィティ政策作成	34
10. 戦略的枠組みと計画	39
11. 男女平等なスポーツ組織	41
12. 女性スポーツ委員会への委任条件	48
13. 会議主催者のためのガイドライン	50
14. ハラスメント政策の例	52
15. 少女／若い女性のプログラム設計	54
16. 少女／女性に対する新しいイニシアティブへの資金調達	57

第3章：自己開発のためのツール

17. 良き指導（メンター）のための事例づくり	59
18. コーチと役員に女性を募集・採用すること	61

第4章：行動のためのツール

19. ‘変革を起こす’ 行動計画	63
20. 成功の評価	65

第5章：資料

役に立つウェブサイト	68
プログラム	73
成文化された資料	76

謝辞

モントリオール・ツールキットに含まれているアイデアや言葉は、スポーツや身体活動に少女や女性を参加させたり導いたりする機会を増やすために、成功した戦略を実施してきた多くの男女から得られたものである。今日、この情報の多くはアイデア、道具、政策、プログラム、戦略を共有しようとする寛大な精神によって、公のものとなっている。スポーツにおける女性の役割を向上させよう貢献してきたこれらのすべての人びとに感謝したい。またこのモントリオール・ツールキットへの貢献に対して下記のような個人と組織に対して特に感謝を申し上げたい。

ジュディー・ケント（カナダ）：コモンウェルスゲームズ連盟の女性スポーツ委員会議長、ツールキットの情報収集、記述、編集を行った。

カリーナ・ヘンリ：「資料」セクションの準備、ジェニファー・ビルチ・ジョーンズ：「あなたの成功の評価」ツールの準備、ローズマリー・ケント&シドニー・ミラー：ツールの入念な批評と編集作業、ディーナ・スコレッツ&キャスリーン・ジゲール：資料収集の補助とこの作業工程の指揮。

IWG（国際女性スポーツワーキンググループ）：モントリオール世界女性スポーツ会議とその遺産としてのモントリオール・ツールキットへのコミットメントに対して。

カナダ政府：資金的な援助と政策における協力。プロダクション・チームとしての以下のメンバー：スポーツ・カナダのスー・ニール博士、イサベル・ドイヨン、デイビット・マックリンデル、ゴールドンフィッシュ株式会社のコレイ・デ・ラブランテ&ブライアン・レベスケ。カナダ・ゲームズによって提供された Concept to Applause の表紙の写真。

ガブリエール・バハレン（ドイツスポーツ連盟）、Hon Sze Sze（香港スポーツ連盟女性スポーツ委員会事務局長）、マリオ・コンスエロ・アラウーヨ（コロンビア・ボゴタ・レクリエーション・スポーツ学院）、チャールズ・ジンバ（アフリカ・最高スポーツ評議会ゾーン6・戦略的計画コーディネーター）

ジェンダー・ニュートラル言語ガイドライン（ユネスコ）、ジェンダー・エクィティ計画（ICSSPE：国際スポーツ科学体育評議会）

序文

私たちは、2002年世界女性スポーツ会議のための遺産－モントリオール・ツールキット－に大変誇りを持っている。私たちの多くは、個別に限られた資源の中で働いているが、世界中の多くの人びとや組織がスポーツや身体活動に関わる少女・女性に対し、より公平な機会を得るに至る刺激的な変革をもたらしている。変革に関する有効な戦略とツールを統合したものがこのモントリオール・ツールキットの中に含まれている。

変革は1994年と1998年の世界会議全体のテーマであった。2002年のモントリオールではそのテーマ－‘変革への投資’－に焦点をあて続けた。

年	会議開催地	会議のテーマ	会議の成果
1994	ブライトン	変革への挑戦	ブライトン宣言
1998	ウィンドホーク	変革への到達	ウィンドホーク行動要請
2002	モントリオール	変革への投資	モントリオール・ツールキット

モントリオール会議での成果は、参加者のコミュニティ、組織、地域、国において変革をもたらす挑戦に役立つ20のツールを含んだ参考マニュアルが作られたことである。

この文書に含まれるツールと資料は、スポーツと身体活動が健康や幸福な状態を向上させる力、（すなわち、リーダーシップを向上させ、社会的で民主主義的なスキルを育て、経済的復興を鼓舞し、貧困のマイナス的影響を緩和し、学習を向上させ、生産性を高め、QOL〈生活の質〉向上を人びとに提供すること）を有するということを証明する支えとなっている。スポーツと身体活動を保証することは、すべての人びとにとって利用しやすい手ごろなものであって、意思決定者にとっては優先すべきことである。しかしながら、少女や女性にとっては、ジェンダー格差がいまだに排除されるべき問題であるならば、特別な努力が必要である。

最後に、私たちは〈既存の考え方や体制との〉差異を作り出している。変革は起こっており、少女や女性は、世界中のスポーツに参加しリードする機会をより多く見出している。私たちはみなさんが変革をもたらす成功されることを望んでいる。また、このモントリオール・ツールキットが皆さんの目標に到達する手助けとなることを期待している。

IWG 共同議長

Dr.スー・ニール

スポーツ・カナダ、スポーツ政策ディレクター

カナダ文化遺産学部

Hon. ペンデュキーニ・イブラ・イサナ

アフリカ女性スポーツ連盟

ナミビア法務長官

モントリオール・ツールキットの使い方

すべての会議参加者は、会議資料の一部としてモントリオール・ツールキットを受け取る。(モントリオールの)会議後に、IWGのウェブサイトツールキットが掲載される予定である。このツールキットはスポーツを少女や女性たちにとってより公平なものにさせようということに関心のある人なら誰でも使用することができる。各ツールは最初にツールの概要で始まり、そのあとにいつそれを使うのが説明され、最後にツールの体裁(フォーマット)という流れで紹介されている。それぞれのツールは変革のさまざまな領域に焦点をあてている。

第1章：変革を主張するためのツールー変革を生み出すための気づき、知識、パートナーや支援を構築する。ツールは以下のものを含む。

1. ジェンダー・エクィティに関する事例づくり
2. ジェンダー・エクィティの理解
3. 主張戦略の作成
4. 連携、同盟、パートナーシップの構築
5. メディアのための性差別のないスポーツ解説
6. 宣言と解決
7. ブライトン宣言の承認

第2章：組織、システム、構造を変えるためのツールー組織やスポーツシステムの中の変革に焦点をあてる。ツールは以下のものを含む。

8. コモンウェルスゲームズ連盟：組織的な変革の事例研究
9. 国のジェンダー・エクィティ政策の作成
10. 戦略的枠組みと計画
11. 男女平等なスポーツ組織
12. 女性スポーツ委員会への委任条件
13. 会議主催者のためのガイドライン
14. ハラスメント政策のサンプル
15. 少女／若い女性のプログラム設計
16. 少女／女性に対する新しいプログラムのための資金調達

第3章：自己開発に向けたツールースポーツに携わる少女や女性のサポートに焦点をあてる。

17. 良き指導(メンター)の事例づくり
18. コーチや役員に女性を募集・採用すること

第4章：行動に向けてのツールーアイデアを集めるためのツールを提供し、最後のワークショップの中で仲間とともに行動計画を用意し、そして行動計画の成功的な実践をいかに評価するかを理解する。

19. ‘変革をおこす’行動計画
20. 成功の評価

モントリオール・ツールキットの最終章には興味深いウェブサイト、プログラムのサンプル、連絡先情報のある成文化

された資料を載せている。このリストはすべてではなく、IWG がウェブサイトに取り続き資料リストを加えていく予定である。付け加えたいウェブサイト、プログラム、記述資料があれば連絡をしていただきたい。

他のものよりも関連のある情報やツールがあるかもしれない。ここにあるツールはみんなのものである。状況に応じてより使いやすいものにして修正して欲しい。

第1章：変革を主張するためのツール

;

1. ジェンダー・エキティに関する事例づくり

ツールの概要

このツールは、少女や女性がスポーツや身体活動で直面している問題について、人々を教育するための事例をつくるための3つのステップを提示している。データ収集の例と‘事例’が、強力な事例とはどういうものなのかについて説明している。

いつ使うのか？

- ・ スポーツや身体活動に関わっている少女や女性に、現在の参加機会が公平さを欠いていることに気づかせる必要がある時。
- ・ 組織、地域、国家の協議事項にジェンダー・エキティをもちこもうとしている時。
- ・ 組織の内部、もしくは外部の他者から支援をしてもらいたい時。例えば、ステップ1の統計や事実、ステップ2のサンプル‘事例’はカナダの2002年～2006年戦略の重要な一部であり、ジェンダー・エキティに関わる意識を高め、仲間を集めるために使われる。

フォーマット

はじめの段落は、ジェンダー・エキティに関する事例づくりのための簡単な3つのステップを提供する。残りのツールは、1つの例を提供している。さらに、全国ジェンダー・エキティ政策のサンプル（ツール9, p26）で提供された情報は、事例を作るときに使用されるかも知れない。

ツール

事例を作るといのは、変革に向け、合理的な論拠をともなった実際の言語で問題を定義することである。正義や公平さに対する感情的な嘆願は、しばしば支援に対する堅実な事例がなければ理解するのが難しい。

ステップ1：不公平や公正さの欠如を表している実際の情報や統計を集めよう。あなたの地域、組織、国の中で統計を集めることは重要なステップで、もしないようならば実際の事例を作るのは難しいだろう。さまざまな年齢、レベル、役割、例えば選手やコーチ、役員、ボランティアの管理者などの女性や男性の参加率を調べよう。

ステップ2：このような事実や統計を、興味をひく読みやすい形にし、どうして少女や女性はスポーツや身体活動にもっと参加しリードしていく機会が必要なのかという話にして解釈する。

ステップ3：変革に影響を与えうる人たちに、あなたの事例を伝えよう。それはあなたの組織や地域の政治的なリーダー、官僚、意思決定者かもしれないが、強力かつ合理的な方法でそのメッセージを伝えよう。

ステップ1の例

興味深い事実と統計

研究では、少女や女性が少年や男性と同じ程度ではスポーツや身体活動に参加していないことを示している。カナダフィットネスとライフスタイル研究所では、活動レベルにおいて児童や青少年男女に関わる重大なジェンダーの差異をみ

つけた¹。

- ・ 4 歳から 11 歳までのカナダの児童 44%は健康に対して十分積極的であった²。そのうち 53%は少年で、35%が少女であった。
- ・ 全体的に青年男子の約半分（52%）が身体活動レベルを 2 倍にする必要があったが、青年女子の 72%が男性同様に身体活動レベルを 2 倍にする必要があった。

同様に、カナダでのスポーツ参加に関する最近の全国調査³では、少女や女性がより多くスポーツに参加するようになってきているが、課題がたくさんあるという証拠を示している。

- ・ 1998 年のスポーツ実施率は、26%の女性に比べて男性は 43%のであり、男性の参加率は依然として女性よりも高い状態が続いている。
- ・ 成人女性はスポーツにあまり参加していない：1992 年、成人女性の 3 分の 1 以上（38%）が参加していたが 1998 年までにこの値は 26%に落ち込んだ。
- ・ 少女は少年よりもスポーツ参加に積極的ではない状況が続いている。5 歳から 14 歳までのカナダの児童の約半分以上（54%）はスポーツに積極的である。そのうち少年（61%）は少女（48%）よりも積極的である。
- ・ 男性コーチは女性コーチよりも数で勝っている状態は続いているが、コーチング現場の女性の数は増えている。1997/1998 年において、カナダナショナルチームの 17%のコーチが女性で、一般的に責任や認証レベルで比べると女性コーチよりも男性コーチの方が給与は高い。
- ・ 男性と女性審判員（レフリー）、役員の男女格差は減少している；1998 年、43%が女性で 57%が男性であった。カナダでは男性の 64%に比較して、36%しか女性の国際役員がいない。

ステップ 2 の例

スポーツや身体活動における少女や女性に対しての問題にかかわりあうことは、個人や地域、社会全体に重要な利益をあげることが示す証拠が多くある。これらの利益は、カナダのスポーツや身体活動における少女や女性にとって公平さを支持する基本的な理由とともに、以下に概要を載せてある。

健康に関すること—身体、精神、情動、スピリチュアル ⁴	スポーツや身体活動への参加は、良い身体イメージの維持、摂食障害や慢性的な病気の軽減、禁煙の促進、心肺系体力や少女や女性の健康的な骨の成長に重要である。 肥満の増加に警鐘を鳴らすとともに、適性体重を維持することはスポーツや身体活動への定期的な参加の便益の一つである。 心臓病や癌は死亡原因となる 2 つである。身体的に健康で活動的なライフスタイルをとることは心臓病や癌、特に結腸癌の予防に有効である。 適切な機会とともに、定期的なスポーツや身体活動への参加は以下のことに役立つ： 自尊心の向上 自己概念の改善 心理的健康の向上 身体能力を高め、そして
--	---

¹ カナダフィットネスとライフスタイル研究所（1999）。カナダの児童と青少年：身体活動プロフィール。

² 健康に対して十分積極的であるとみなすために、日常的な活動報告が要求された。活動の日常レベルは組織化されたスポーツと組織化されていないスポーツと活動への参加を通して達成されうるだろう。

³ スポーツ・カナダ（2001）。カナダ 1998 レポートにおけるスポーツ参加。

⁴ CAAWS(2000)の改変。On the Move: Increasing participation of girls and women in recreational sport and physical activity.

	<p>積極的なレジャー経験により退屈さを解消する。</p> <p>身体活動やスポーツに参加することは児童や青少年の時に、よりレベルの高い学業成就や社会行動に関連している。</p>
ライフスタイルに関する こと	<p>スポーツや身体活動における参加やリーダーシップは、生活の質の向上に関連しており、一生懸命働くことや、フェアプレイ、人格形成、チームワーク、反社会的な行動や疎外感の軽減といった多くの質を促進させている。</p> <p>スポーツは、スキルを改善させ、地域への貢献度を増しながら、リーダーとしてめきんでる女性に機会を与える。</p>
公平さに関すること	<p>参加者、選手、コーチ、役員や管理者として少女や女性がスポーツや身体活動で活躍する姿は、今 X%を代表している人口の比率ではない。同等な機会を提供することがフェアで（国の名前を入れる）がめざす正しい方向である。</p>
法に関すること	<p>公平さは（公平でフェアな処遇を保証するよりもあなたの国の中にある法律の名前を記入）の中で強化される。スポーツや身体活動における少女・女性に公平さをサポートする政策はこの権利の現れである。（注）：すべての国がこのような法律をもっているわけではない。</p>
経済に関すること	<p>活動をすることによって健康へのありがたさがわかるほど十分に活動的になる人口が1%増えることによって、（国名、地域名記入）が毎年医療費を¥〇〇削減できることがわかっている。</p> <p>（予防的健康以外に旅行や労働力の生産性、雇用機会、スポーツ用品製造や小売などが経済的効果に該当する可能性がある。）</p>
持続可能性に関すること	<p>スポーツや身体活動はかなりの比重でボランティアに頼っている。他の活動に要する時間が増えれば、人びとはボランティアとして関わるのが少なくなる（少なくともスポーツでは）。</p> <p>スポーツや身体活動のリーダーとしてより多くの少女や女性が関わってくることにより、コミュニティはダイナミックで手ごろな人的資源で活性化し続けることができる。</p>

“～に関すること”には、あなたの国や組織、コミュニティにとって最適な例になる他の事項を含めることができるでしょう。

ステップ3の例

用意された事例は変革に影響を与えうる人たちに伝達されなければならない。あなたの用意した事例を誰が理解する必要があるのか、そしてそれをどのように知るのであるのかを決める。

誰が知るべきか	どのように知るのであるのか
<p>例) スポーツ大臣</p> <p>例) メディア</p> <p>例) 地域のレクリエーションやスポーツ指導者</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 会議を要請し、事例を紹介しよう。・ スポーツに女性が参加し先頭に立つ機会が増す効果についての記事を準備し提出しよう。・ あなたの地域でレクリエーションやスポーツ機会のプログラムとスケジュールを設定する責任者に事例を紹介しよう。少女や女性のために機会を増やすことやよいタイミングを要求しよう。

2. ジェンダー・エクィティへの理解

ツールの概要

このツールは、スポーツにおける男女平等の問題を理解するのに役立つ資料である。これは、男女平等を理解していなかったり、その意味を混乱している人たちにあなたのメッセージを伝えるツールとして容易に修正・複写することができる。以下の4つの主要な領域を含んでいる：

1) ジェンダー・エクィティを達成すること：それって何？

- ・イクィティとジェンダー・エクィティの定義
- ・ジェンダーが公平であるスポーツ組織とはどのようなものなのかについての解説

2) ジェンダー・エクィティを達成すること：それってどうして？

- ・なぜスポーツの中でジェンダー・エクィティは問題になるのか？
- ・スポーツ組織にとってジェンダー・エクィティの利点

3) ジェンダー・エクィティを達成すること：それってどうやって？

- ・スポーツ組織での変革に影響を与えるヒント

4) ジェンダー・エクィティを達成すること：共通のQ&A

Q: ジェンダー・エクィティとは？

Q: 少女や女性はスポーツにあまり参加しようとしませんか？彼女たちはあまり興味がないのでは？

Q: ジェンダー・エクィティの全体的な問題は多くのスポーツー特にどちらかの性しか参加できないスポーツなどーには関係がないのでは？

Q: 特別な尺度やエクィティ・プログラムは、個人の長所にもとづいてというよりむしろジェンダーにもとづいて、少女と女性を奨励していないのでは？

Q: ジェンダー・エクィティ・プログラムは逆差別では？

いつ使うのか？

- ・ 知的に議論するためにジェンダー・エクィティについて理解し、それについての共通の知識を身につける必要がある時
- ・ 議論やディベート（討論）のために共通言語を確立したい時
- ・ あなたの変革プロセスに味方をするよう人びとを導きたいとき、例えば、コモンウェルスゲームズ連盟は、理事会メンバーがジェンダー・エクィティを理解する助けとなるようにこの資料を70のコモンウェルスゲームズ協会（加盟組織）に回覧した。

フォーマット

改変や複製のための配布資料

ツール

ジェンダー・エクィティを達成すること：それって何？

「エクィティ (equity)」は、「フェアネス (fairness) : 公平・公正・公明正大」や「ジャスティス (justice) : 公正・公平」と同義語で、フェアであること、フェアであるとみえることと同じ意味をもつ。エクィティは人種、性、能力、年齢、国家／民族の起源、そして宗教にもとづく差別を含む多くの形体の差別を扱う。

「エクィティ (equity)」と「イクオリティ (equality)」はよく混同される。ウェブスターの辞書では「イクオリティ (equality)」は“同じ質、大きさ、数、程度、価値、強度の” “同じ権利、特権、能力、ランクなどを持っていること”と定義されている。一方「エクィティ (equity)」は、“ジャスティス (公正) で偏っていないこと；(たとえ欠点はあっても) 人を公

平に扱うために与えたり望んだりすること；フェアであることならなんでも”と定義されている。エクィティは必ずしもすべての人が全く同じように扱われなければならないということではない。

ジェンダー・エクィティは、女性と男性に公平で公正な資源と機会の割り当ての原理であり実践である。ジェンダー・エクィティはどちらかの性の参加に障壁となる差別的な慣習を排除する。ジェンダー・エクィティの主要な目的は、すべての人に全領域にわたる活動へのアクセスや機会を提供し、そうすることで人びとが自分の持っている可能性に気づくことである。

ジェンダーが公平である組織とはどういうものなのか？

ジェンダーが公平である組織は、どちらの性に対しても差別しないシステムや構造をもっている。それは以下のものを含んでいる：

- ・ 女性と男性の両者がリーダーシップの役割を担う機会を作っていること
- ・ 委員会やワークグループで女性と男性のバランスを確保していること
- ・ 出版物やプロモーションの中でジェンダーという視点を含んだ言語やイメージを用いること
- ・ 両方の性に公平に資源やイベント、機会を割り当てること
- ・ ジェンダー（性）のパターンや傾向に関するデータベースを保持すること
- ・ この情報を使ってスポーツや意思決定の際に少女や女性が直面している特殊な問題を理解すること

ジェンダー・エクィティを達成すること：それってなぜ？

なぜスポーツの中でジェンダー・エクィティが問題なのか？

女性はどのスポーツレベルにおいても陰に隠れているー参加率においても、リーダーシップの地位においても、公の認知においてもである。これは女性の側において関心が不足しているからではなく、直接的・間接的形体の差別の長い歴史を反映している。みんなのスポーツを促進するためには男性、女性が一緒にやっていくことが重要である。

スポーツ組織にとってジェンダー・エクィティの利点

スポーツ組織はスポーツのジェンダー・エクィティを引き受けることでより多くのことを得る必要がある。たとえば、そのようなかわりあいとは、

- ・ スポーツがサービスを提供する人口にもとづいてより充実した代表者を確保する、
- ・ 性に関わらず、すべてのメンバーの資源を利用する、したがってより大規模でより強くより効果的な組織を作る、
- ・ 熟練した管理者（理事）、コーチ、役員といった才能の蓄積を増やす、
- ・ 社会変革に敏感で、進歩的な組織であることを表現する。そうすることによって政府、メンバー（構成員）、観客、メディア、可能性のあるスポンサー、そして大衆の目による組織へのイメージを改善するかもしれないからである。
- ・ より公的な関心と私的な投資を引き寄せること。そうすることによって、より多くのメンバーを魅了する、
- ・ スポーツが引きつけるマーケット部分を増加させ、潜在的な収入を拡大する、
- ・ リーダーシップ、刷新、そしてリスクを負うこと（責任をとること）を説明することー最先端に行く組織を証明する！

ジェンダー・エクィティを達成すること：どのように？

スポーツ組織における変革に影響をおよぼすヒント

（形式的・非形式的両方の）パワー（権力）について理解し構造に影響を与えましょう。誰が鍵となる影響力の持ち主なのかを知ろう。権力構造の中における仲間を見つけよう。変革のプロセスと起こる変革に対して誰が関わる必要があるのかを理解しよう。その変革に関わる多くの重要な人びととの関係性を構築しよう。

システムにチャレンジしよう、しかし既存の文化や価値、構造を認め、敏感であろう。忍耐強く、しかし断固とした態度で臨もう。拒絶に屈しないで、別の方法で再度挑戦しよう。

あなたが影響を与えようとしている個人やグループの優先事項にもとづいてあなたの主張をしよう。

例) 財政, 感情, 法律, 健康

あなたとは異なる人びとを尊重しながら、明晰さや自分の価値への専心さを維持しよう。

たとえば少女や女性向けのより多くのイベントや機会、より多いリーダーシップに立つ女性の数など、変革の効果に理解を示す他者をサポートするための長期展望（ビジョン）を提供しよう。

あなたの宿題をしましょう。質問に対する統計と答えを用意しましょう。あなたが何について話しているのかを知らしましょう。計画を持ちましょう。

あなたの主張について考えるチャンスをもてるよう前もって情報を提供しよう。

スポーツにおけるジェンダー・エクイティに関わっている他の組織の人と一緒に仕事をしましょう。仲間を通して長所を伸ばそう。

他者に権限を与えること（他者をエンパワーすること）によって結集した力を起こそう。

他者に影響をあたえ、効果的なネットワークを発展させることに焦点をあてよう。

経験やよき指導を提供することで、将来のリーダーたちを育てよう。

現実的になり、長期目標とともに短期間で手におえるような段取りを組み立てよう。

ジェンダー・エクイティを達成すること：共通する Q&A

Q: ジェンダー・エクイティとはいったい何なの？

A: エクイティとは過去から生じている不公平な状況を修正していくことに関わるものである。エクイティとは、資源や機会を公平に配当すること、偏見や差別がないことを意味する。

Q: 少女や女性はスポーツにあまり参加しようとしなのでは？彼女たちは関心も低いのでは？

A: 女性競技者やコーチは、男性に対するよりも認知の低さや権力が少ないこと、資金不足や選択肢が少ないことを好んでいるわけではない。普通はみずからの選択ではないが、文化的規範、差別的な慣習、そして社会における女性の地位が絡み合って、少女や女性のスポーツ参加が低くなっている。

Q: ジェンダー・エクイティの全体的な問題は多くのスポーツで無関係なのでは？一特にどちらかの性しか参加できないスポーツには関係がないのでは？

A: スポーツが女性／男性どちらか一方だけの種目であれば、異なる性の人コーチや理事（管理者）役員になることも可能であろう。なぜならば、機会均等の原理はすべてのスポーツに関連しているからである。スポーツは住民 100%の中から採用することで人的資源を最大限にすることができる。

Q: 特別な尺度やエクィティ・プログラムは、個人の長所にもとづいてというよりむしろジェンダーにもとづいていて、少女と女性を奨励していないのでは？

A: スポーツシステムの差別的な性質のせいで、少女や女性は自分たち自身の力でいつもうまくいくとは限らない。特別な尺度がなければ、資格をもった女性はめったに貢献するチャンスに恵まれていない。ある地位や課題のために人選する際、私たちは自分たちに最もよく似ている人を選ぶ傾向があるという研究報告があるが、スポーツの場合、その傾向は男性が男性を選ぶものであった。

Q: ジェンダー・エクィティ・プログラムは逆差別では？

A: 少女や女性の十分な（スポーツへの）参加を妨げる障壁や伝統を除去することは、システムの中で合理的なチャンスを彼女たちに与えるために必要である。特に少女や女性向けに考案された働きかけ〈アクション〉を導入することが、活動の場を平らにする〈平等にする〉ために必要である。短期間で女性の多様なニーズをサポートすることが、長期的にエクィティの可能性を創造するかもしれない。

3. 主張戦略の作成

ツールの概要

このツールは二つのパートに分かれている。第1部は主張戦略を構成している部分についての簡単な背景とその戦略のサンプルを提供している。第2部はあなたのニーズや状況に見合ったあなた自身の主張戦略を作る際に役立つプロセスである。

いつ使うのか？

- ・ 既存の慣習、考え、力や資源の分配に対して挑戦したい時
- ・ 少女や女性にスポーツをより公平なものにするために必要な変革をどのようにもたらしていくのかを計画する必要がある時

フォーマット

第1部はあなたの主張についての理解の手助けとなるような配布物や小さなプレゼンテーションとして利用することができる。第2部はワークシート上に記したプロセスである。そのプロセスはあなたの環境に最も適したやり方で修正・利用されるだろう。

ツール

1 a. 成功をもたらす主張戦略の10の主な要素

- ・ 明らかになった特定の目標（何を变えたいのか）をもっと明確に示された問題（何が問題なのか）
- ・ 目標に到達するための現実的な時間枠
- ・ 問題が存在する環境の査定、例）他の問題、法律、意思決定者の優先順位
- ・ 事実や証言に基づく詳細かつ弁護可能な議論（ツール1を参照：事例づくり）
- ・ 同じ問題に関心を持つ他のグループとの連携（ツール4を参照：提携とパートナーシップの構築）
- ・ 反対の立場や彼／女らが使う主張に関する知識
- ・ 戦略の成功を阻むもの—時間、資源不足、力不足や意思決定者への接近不足を含む—への気づき
- ・ 状況を打開するためにあなたが誰に届けたいのかを明らかにすること
- ・ 明瞭で一貫したメッセージ
- ・ 主張の努力をチェックし評価するプロセス

1 b. 主張戦略の例

- ・ 教育：問題に対する気づきを高めることへの焦点づけ（ツール1, 2を参照）
- ・ メディア：メディアの物語や記事、証明書を利用しながら世論形成のための主導権
- ・ キャンペーン：多くのパートナーをともなった変革を求めるための結集した努力
- ・ 公的政策：政府の政策作成担当者への影響（ツール9参照）
- ・ 法律改正と法律：既存の法律を変革し新たな法律を導入する努力

第2部. 主張戦略の作成

ステップ1：はじめるにあたって	
私たちが焦点をあてたい問題は何ですか？（明確に示しましょう）	
現状はどうでしょうか？	
変革を促進するにあたり環境はどうなっていますか？ 例）他の優先項目は？	
誰にその問題は影響があるのでしょうか？	
他に誰が率先して助けてくれるのでしょうか？	

ステップ2：あなたの戦略を計画する	
厳密に何を達成したいのでしょうか？ （あなたの目標を述べてください）	
それらの目標の遂行を妨げる障壁は何ですか？	
その目標に到達するために影響を与える必要があるのは誰ですか？	
なぜ彼／女たちは態度や行動を改めなければならないのでしょうか？	

ステップ3：メッセージの開発と伝達	
私たちが影響を与えたい人たちに届く最もよい方法は何でしょう？（どのように、いつ、どこで）	
私たちが影響を与えたい人たちに届くために必要とされるツールを用意しましょう。例）事例、会議の協議事項、メディアの物語	
私たちが望むことをそれらが果たすのかを確かめるためにツールをテストしてみましょう。	
私たちが開発したプロセスを実行しましょう。	

ステップ4：結果の評価	
私たちが達成したものは何でしょう？私たちの目標に応じていましたか？	
何がうまくいき、何がうまくいかなかったのでしょうか？	
このアプローチで影響を与えることができる人は他にいますか？	
私たちの経験から得たものをどのように他者と共有できるでしょうか？	

4. 提携，同盟，そしてパートナーシップの構築

ツールの概要

ツールの前半（第1部）では、用語の定義、利点、成功するための要因と障壁、提携を築く際のヒントをもちこんだ提携、同盟、パートナーシップに関する情報を提供する。第2部はそれらを築いていく際のプロセスである。（注）国や文化によって“提携（coalitions）、同盟（alliances）、パートナーシップ（partnership）”の意味は変わるでしょう。このツールでそれらの言葉がどのように使われるか以下の定義を参照。

いつ使うのか？

- ・ 変革に関してあなたと一緒に他の人／組織と働きたい時
- ・ 少女・女性がより公平にスポーツをするのに必要な変革をもたらすため、他の資源（例：人、予算、専門的知識）を必要とする時
- ・ 同じような結果を生み出すため同じような活動をしている複数の組織による重複を削減したい時
- ・ 下記のセクション1aにある提携、同盟、パートナーシップ構築の利点を参照のこと。

フォーマット

第1部は提携、同盟、パートナーシップの構築を人びとに理解してもらうために配布物や小規模なプレゼンテーションとして役に立つであろう。第2部はワークシートでおこなわれるプロセスである。それはあなたの環境に応じて修正することができる。

ツール

定義：パートナーシップ、同盟、提携は、共通の目的があり一緒にやっていくことに賛同している二つあるいはそれ以上の仲間関係として定義される。

1a. 提携，同盟，パートナーシップの構築の利点

- ・ ロビー活動の能力や影響力が増える
- ・ 同様のグループの中での複性や重複を削減する
- ・ 複雑な問題への解決を見つける
- ・ 共通の目的を達成する際により多くの人や資源を含める
- ・ 経費、技能、プログラムを共有することでより少ないもので、より多くかつよりよくおこなう
- ・ 機会とそれを利用する努力を結びつける
- ・ 共有した知識、技能、資源を使える

1b. 成功する提携，同盟，パートナーシップの要因

- ・ 共通の関心と目標
- ・ お互い、そしてお互いの環境を理解し尊重する
- ・ 違うやり方に対して寛大であること
- ・ すべてのパートナーやメンバーにとって利点が明確であること
- ・ 規則的でオープンなコミュニケーション
- ・ リーダーシップの共有

1c. 提携，同盟，パートナーシップに対する障壁

- ・ コミットメント〈かかわり方〉の不均衡なレベル

- ・ 力関係の不均衡
- ・ 情報の共有不足
- ・ パートナーに対する利点の不均衡
- ・ 活動範囲に関する衝突
- ・ 共通の体制の欠如
- ・ 内部の政治性
- ・ パートナーが共有的な意思決定をできないこと
- ・ マネジメントやコミュニケーション構造の欠如
- ・ 隠された動機〈下心〉や異なる興味・関心

1d. パートナーシップ, 同盟, 提携をつくる際のヒント

- ・ 共通の場を探そうー問題が人々を結びつける
- ・ 積極的な側面〈いいこと〉に目を向けよう, 消極的な側面を変革するために働く
- ・ 個人的な関係性をつくろう
- ・ 共有的関心, 価値, ビジョンからパートナーシップを築こう
- ・ わかりやすくはじめるのに簡単な計画をもとう
- ・ 人びとに情報をもたらし関わり続けてもらおう
- ・ 関連しているものすべてを認知し感謝しよう
- ・ 成功を喜び共有しよう
- ・ 些細な問題にとらわれないようにしようー心の中に大きな絵を描こう

パート2: 提携, 同盟, パートナーシップをつくるためのワークシート

ステップ1: 人びとをテーブルによびよせる	
共通の課題や問題を定義しよう。	
可能性のあるパートナーを明らかにしよう (誰が参加できるか?)	
共通のビジョンや目標へのかかわりかたや理解を高めよう。	
リーダーシップを明確にしよう。	
パートナーシップを支援する資源を明確にしよう (例: 人やお金)	

ステップ2：方向性の設定	
公平なプロセスと力の共有を確立する	
行動にむけてのオプション〈選択〉を調査する	
グループの活動に対する協議事項を確立する	
役割と責任に関する明確な理解を確立する	
行動の方針に賛同する	

ステップ3：実行	
行動に向けパートナー組織の中にサポートをつくる	
進行に際し、定期的なコミュニケーションを確保する	
成功を祝う	
チェックし評価する；必要があれば行動を調整する	
パートナーシップを一新する、見直す、あるいは終了する	

5. メディアのための性差別のないスポーツ解説

ツールの概要

このツールはメディアの解説において、少女や女性の適切な描写という点でメディアを教育する簡単なガイドである。これはしばしば描写が女性を軽視する共通の領域—名前、イベント、そして使用言語—について述べたものである。

また、米国の女性スポーツ財団は女性スポーツのメディア報道についての質問と回答を提供している。そこでは年間10万件以上の質問があり、最もよく訊かれる質問への回答を用意してきた。

いつ使うのか？

- ・ 女性競技者の表現の仕方についてスポーツレポーターや解説者を教育したい時
- ・ 将来やってくるイベント—オリンピックや地域の競技会など—でメディアを用意したい時
- ・ メディア報道についての質問や関連事項に対応したい時

フォーマット

ツールは記事や配布資料として構成されている。もしかしたら地域あるいは全国放送のメディアにそれらを送りたくなるかもしれない。Q&Aのセクションはメディアに関する質問や関連事項に対応する際、あなたのメンバーを支援するために閲覧されるかもしれない。

ツール

女性スポーツの隆盛にもかかわらず、メディア報道はいまだ大半が男性のスポーツに捧げられており、スポーツ解説者は“男性言語”で表現している。男性とは違い女性競技者を脅かすコメントや表現を聞くのは珍しくない。さらに、しばしば彼女たちの成功を控えめに扱ったり軽視する手段を使う。

スポーツ解説で女性競技者が平等で公平に扱われることを保証するためにいくつかのガイドラインを以下に示してある。

【名前】

男性競技者が“男性 (men)”とか“若い男性(young men)”と言われるように、女性競技者にも年齢的に適切である限りは、“女の子(girls)”ではなく“女性(women)”“若い女性(young women)”と言うべきである。また男性、女性両者のイベント放映であれば姓と名の使用を一貫すべきである。例えば、もし素晴らしいスキルでスケートをする“ブラウニング”と“ヤグディン”ならば女性のフィギュアスケートでも同じように“ヤマグチ”と“クワン”とすべきである。“クリスティ”や“ミシェル”ではない。

【イベント】

男性・女性両者によるスポーツでは、男性のイベントが町の唯一のゲームと言われたり、“今年のナショナルバスケットボール大会での試合はタフそうだ”と言われる傾向がある。この落とし穴をさけるために、イベントは“男性の”“女性の”大会と表記されるべきである。

【表現】

身体的な容姿や競技には関係ない技能を、過度に強調するような身体的な表現を避ける。例えば、“彼女はとても寂しがり屋なんです、彼女はあなたのハートをあたたかくする無防備さをもってそれが彼女の性格なんです。とても魅力的でか弱い人”など。男性競技者が普通、競技の特質に関連して見られるように女性競技者にも同じようにすべきである。

【使用言語】

ここに男性・女性競技者を表現するための対等なことば、中立な単語や副詞、形容詞を使った例がある。

	悪い例	良い例
対等な言葉： 女性と男性について言及する際、対等な言葉を使用してきたか？	男性チーム；レディースチーム、スミス氏、スー・ジョーンズ	女性と男性 スミスさん（Mr.Ms.,Mrs.）あるいはジョーンズさん（Miss Jones）
中立な単語： 可能な時はいつも中立な単語を使用していたか？	彼（ら） （両方の性を含む場合にも）	コーチ、トレーナー、スプリンターといった中立の名詞を使用する
修飾語句： 大会で競技者を表現する際に適切な形容詞と副詞を使用してきたか？	疑わしい単語： ・ 感情的な（emotional） ・ ムードのある（moody） ・ 均整のとれた（shapely） ・ かわいい（cute） ・ チャーミングな（charming） ・ 立派な体格（well-built） ・ 活気がある（bouncy）	適切な単語： ・ パワフル（powerful） ・ 熟練した（skilled） ・ 機敏な（agile） ・ 強い（strong） ・ 優雅な（graceful） ・ 迅速な（swift） ・ 有能な（capable）

メディア報道についてもっともよく訊かれる質問：女性スポーツ財団，USA

Q1. 女性は男性ほどスポーツに関心を持っていないから、メディアは女性競技者をあまり放映しないのでは？

A1. この論点を支持する証拠はない。全国規模のデータでは、スポーツや身体活動の参加者の38～42%が女性である。しかし、調査ではこのような女性たちがスポーツ報道全体においてほぼ6～8%しか表象されていない。

Q2. 女性競技者を女性らしさや身体的な魅力で描写したいと思うことの何が間違っているの？

A2. 女性を伝統的な見方で女性らしい／魅力的とみたいと思うことは間違っていない。しかし、女性競技者は競技能力に関して男性競技者に与えられるのと同じ尊敬を得るに値するのである。女性競技者がスポーツ・フィットネス用品を宣伝するために雑誌や広告に表象される際、対の男性と同じように、熟練した競技者として、尊重して彼女を描写すべきである。

Q3. 女性競技者をかわいいとか女らしいと表象することの不都合は何か？

A3. イメージというのは、態度や価値を形づくり影響をもたらす強力なツールになる。スポーツウーマンを“性的対象”や“かわいいレディ”などと表現することによって、スポーツウーマンは大して強くもパワフルでもない、あまり熟練してはいないというメッセージになる。結局、女性を無視しつまらないものにするイメージは、女性スポーツの重要性や女性競技者の能力に対する敬意をいつのまにか害してしまっている。

Q4. ではメディアはどうしたらいいか？どんなイメージだったら女性アスリートは喜ぶのか？

A4. メディアは単に女性の多様なスポーツ経験の現実、たとえば、優美さ・美しさから身体的な強さ、持久力、そしてパワーといったものを映し出すべきである。バランスの取れた現実的見方はメディアにはない。すべての年代、人種、社会階級の少女と女性が彼女たちの参加に対する歴史的な障壁を打ち破るであろう。スポーツウーマン（娘や姉、妹、そして母たち）が受けるに値する称賛、尊敬、敬意（男性たちに払われるのと同じ称賛、尊敬、敬意）で迎えられるよ

う、メディアはその現実（同性愛嫌悪や個人的な固定観念のないレポーターや広告者）を映し出す義務がある。

6. 宣言と決議

ツールの概要

このツールは国際的レベルで積極的な影響力のあった宣言や決議の二例を提供する。

1. マニラ宣言
2. ヘルシンキ・スピリット 2000

いつ使うのか？

- ・ 政治的リーダーやスポーツや社会一般の意思決定者たちの間でジェンダー問題を取上げたい時。
- ・ 会議で代表者に頼むか、信念または行動の主となる声明に賛同を集める時。この‘総意の声明 (consensus statement)’は代表者が帰るときに代表者にとっての方向づけやサポートになる。
- ・ 自国でジェンダー・エクィティを協議事項にのせたい時。ほとんどの宣言や決議は、意思決定プロセスを通して宣言や決議を議論し認めながら政府や NGO に帰結する、ある種、‘署名’や同意のプロセスである。
- ・ 会議を開催し、総意の声明がその会議にとって適切な結果になりうると考える時

フォーマット

セクションにはマニラ宣言とヘルシンキ・スピリット 2000 の内容が含まれている。

ツール

1. マニラ宣言 (1996)

平等、発展、平和のために、政府／非政府組織とスポーツに関わるすべての組織によってこの宣言の中に書かれてある原則を適用することは、適切な政策、構造、メカニズムを発展させることでなされるコミットメントである。その適切な政策、構造、メカニズムというのは

- ・ その人の権利や尊厳を保ち尊重し、少女と女性に安全で協力的な環境に参加する機会を確保する
- ・ スポーツにおけるすべてのレベル、すべての機能と役割で女性の参加を増やす
- ・ スポーツの発展—すべての機能と役割において—に女性が貢献する知識や経験、価値を保証する
- ・ スポーツ本来の価値やそれが個人的な成長、健康なライフスタイルに役立つことに対する、女性による認識を促進する (1994 年の女性とスポーツに関わるブライトン宣言から取り入れた)。

決議

人種、色、言語、宗教、主義、ジェンダー／セクシュアル・オリエンテーション (性的志向)、年齢、婚姻状況、生涯、政治的な信念や関係、国や社会の起源にかかわらず、レジャーやレクリエーション、健康増進、あるいは高い競技力と目的が何であれ、スポーツに参加し関わるための平等の機会はすべての少女と女性の権利として認められること。

政府、非政府のスポーツ組織は競技力向上に関連するすべての活動とプログラムが女性アスリートの特定のニーズを考慮することを保証しながら、女性がスポーツ競技力の可能性に到達する平等の機会を提供すること。

エリートおよびまたはプロ選手の大半にもとづいて支援する者は、大会の機会、報酬、動機づけ (誘因)、認知、後援、プロモーション、そしてその他の支援形態が女性にとってもフェアかつ公平に提供されることを保証すること。

資源の割り当てに責任のある者は、支援がスポーツウーマンや女性のスポーツプログラムに利用できることを保証する

こと。

スポーツ施設の計画や経営は、適切かつ公平にそれぞれの地域における女性特有のニーズにあうべきであること。

コーチ、顧問、意思決定者、役員、理事、スポーツの採用、発展、維持に関わる女性の数を増やすプログラムや構造をつくる際により多くの女性を含むことを保証するためにもりこんだ政策であること。

コーチや他のスポーツ職にかかわる者に対し教育、科学的なトレーニング、育成に責任のある者は、教育的なプロセスや経験がジェンダー・エクィティや女性選手のニーズに関連した問題を扱うことを保証すること。

スポーツに関する研究や情報に責任ある者は、女性とスポーツに関する知識や理解を高める政策やプログラムを開発し、また規範や基準が女性に関する研究にもとづいていることを保証すること。

資源、力（権力）、責任が公平に割り当てられ、性にもとづく差別がないこと。

政府や非政府組織は、女性に対するすべてのスポーツプログラムに十分な財政的支援を提供すること。

女性の健康とスポーツ週間を毎年3月1日～〇日に定めること。

トレーニング、研究、情報センターとして、また研究補助や世界全体の地域の文化的な交換プログラムとして役立つ女性のための国際スポーツセンターをアジア太平洋地域に作ること。

ICHPER-SD の少女・女性スポーツ委員会と調整しながら、そのリーダーシップのもとで定期的なアジア太平洋会議を開催すること。

州や政府機関が女性に対する差別撤廃に関する国連憲章、世界人権宣言、国連条約の平等規定に喜んで応じること。

2. ヘルシンキ・スピリット 2000（2000年女性とスポーツヨーロッパ会議の勧告）

ヨーロッパ女性スポーツ（EWS）ネットワークの任務は、スポーツにおけるジェンダー・エクィティを促進することである。EWS グループの主な目的は、すべての少女と少年、女性と男性が参加、行動、そして意思決定に関して均等な機会を得られるスポーツ文化を作り出すことである。

1990年代、EWS ネットワークの41の加盟国のいくつかは、ヨーロッパのスポーツ文化として平等の啓発を大きく進展させた。スポーツや意思決定において機会均等を提供するには、新しい世紀にまだ多くの課題が残されている。スポーツにおける平等は、スポーツ文化が発展・隆盛し、急速に変化する世界に遅れをとらないで存在するのであれば、重要である。

第4回EWS会議は“女性、スポーツ、そして文化：スポーツ文化をいかに変えるか？”をテーマに2000年6月7～10日、フィンランドのヘルシンキで開催された。47カ国250人の代表者がヘルシンキ・スピリット2000をまとめた。これらの勧告は、先の文書であるブライトン宣言（1994）とウィンドホーク行動要請（1998）にもとづいてつくられている。

1. スポーツ文化や意思決定の資源として女性の役割を強化すること

- ・ 女性のノウハウがスポーツ文化の中で使われるべきである。意思決定に関わる女性の人数は、養成や職業的昇進の中で増加・支援されるべきである。
- ・ 意思決定は、どのレベルにおいてもわかりやすく倫理的に支持できるものでなければならない。
- ・ 女性と男性は、スポーツの基本的な価値や発展に関する議論に、同等に参加すべきである。
- ・ スポーツに関わる女性は地域、国内、国際レベルで強いネットワークをつくるべきである。
- ・ 女性は国際的な団体で当選し、そのような役割で支持されるべきである。
- ・ 女性と男性は同等に国際的なスポーツ政策の作成に参加すべきである。
- ・ 女性スポーツの放映量を増やし、質的に向上すべきである。より多くの女性がスポーツ・ジャーナリストとして養成されるべきである。

2. 女性と男性がスポーツにおいて平等に／平等の責任を共有すること

- ・ 女性と少女、男性と少年は自分の選ぶスポーツを選択する機会をもち、同等に自分のスポーツ組織の活動に参加すべきである。
- ・ 女性と男性両者は平等にかかわる仕事に豊富に参加すべきである。
- ・ スポーツの構造や役割は女性と男性両者の要求を実現させなければならない。
- ・ 女性と男性両者はスポーツ施設の計画に参加すべきである。

3. 障害のある人や特別なニーズのある人に対するスポーツや身体活動が、スポーツ文化の中で同等な一要素として保証されること

- ・ 障害や特別なニーズをもった者が、異なるスポーツ種目、異なるレベルの両方で身体活動に同等に参加する機会をもつべきである。
- ・ 障害や特別なニーズをもった女性は、すべてのレベルのスポーツの意思決定に対し、同等な機会をもつべきである。
- ・ 障害をもっている者ともっていない者との共同作業やコミュニケーションをとおして寛容さを高めよ。多様な集団の中での接触を促進せよ。

4. スポーツにおける平等への気づきと価値を高めること

- ・ スポーツにおいて平等に関わる活動は、公平な財政資源と強力な政治的支援を受けるべきである。
- ・ 進行中の平等にかかわる活動の評価と研究は、ムーブメント促進に向けた基礎を提供すべきである。
- ・ スポーツと身体活動はより広い政治的議題に関する問題を扱う積極的な戦略として促進されるべきである。
- ・ スポーツのジェンダー・エクィティの発展における歴史、目的、活動は、記録され保持されるべきである。

5. セクシュアル・ハラスメントに関するヨーロッパ・ブラティスラヴァ（スロバキアの首都）評議会決議が実行・評価（モニター）されること

- ・ セクシュアル・ハラスメントに関するヨーロッパ・ブラティスラヴァ評議会の決議は、スポーツ組織と当局両者によって、ヨーロッパのすべての国で実行・評価されるべきである。
- ・ この決議は、非常に啓発的であり、特に積極的な進展である。それはスポーツに関わる者により安全な環境をつくるための挑戦である。

6. 体育に関するベルリンアジェンダとプンタ・デル・エステ (Punta del Este) 宣言が実行・評価されること

- ・ スポーツと教育にかかわる大臣は、少女と少年が高い質の体育プログラムを経験することが保証されるよう、体育の専門職と一緒に運営していくべきである。
- ・ スポーツで少女や若い女性に将来を約束する体育の役割を認めて、学校カリキュラムの体育が強化されるべきである。
- ・ プログラムを教える教師は、あらゆる能力、文化・社会的背景の少女と少年のために、体育の包括性を高めることを目的とするコースを設けるべきである。体育教師は体育、スポーツ、身体活動といった学校プログラムの中で、少女と少年の同等の参加を奨励すべきである。

7. ブライトン宣言の承認

ツールの概要

多くの者たちがブライトン宣言の承認や奨励に向けたプロセスを要求してきた。定められた手順はないが、このツールは承認過程で使うことのできる決議案や文書サンプルを提供する。ブライトン宣言を是認している書簡や文書は、普通、組織の長と二人の立会人によってサインされ、それから IWG に提出される。

いつ使うのか？

- ・ スポーツと社会一般の政治的リーダー、意思決定者たちの間で、ジェンダーに関する問題を取上げたい時
- ・ ‘署名’ や承認過程、すなわち意思決定の過程から、ブライトン宣言について議論し承認しながら、政府や NGO に行き着く過程をつくることで、ジェンダー・エクィティを協議事項にのせたい時
- ・ 質の高い会議やスポーツイベントで主催者になる時
- ・ 正式な署名式を用意することで会議やスポーツイベントの質を高めたい時

フォーマット

このツールは、意思決定者による承認のための決議書の事例を二つと、正式な署名式で利用できる文書の実例を盛り込んでいる。

資源

ブライトン宣言および現在までそれを承認した組織や国のリストは、女性スポーツ発展報告書（Women and Sport Progress Report）に記載されている。この情報もまた IWG（国際女性スポーツワーキンググループ）の Web サイトで利用できる。

注：IWG の記録と IWG の Web サイトに掲載するために、ブライトン宣言の承認したコピーを電子メールかファックスを送って下さい。

ツール

承認への運動 1（事例）

スポーツや身体活動が、少女と女性の生活の中で果たすことのできる重要な役割として、またスポーツのあらゆる局面に女性が最大限に関わることを可能にし、それに価値をおくスポーツ文化を発展させるという重要性として、（組織名、国名を記入）はブライトン宣言を是認する。

～による申込み（Moved by）

～による承認（Secinded by）

承認への運動 2（事例）

（組織名、国名の記入）はブライトン宣言に賛同しその勧告の履行を準備する。

～による申込み（Moved by）

～による承認（Secinded by）

ロゴ

この文書は、(年月日)に(場所)で(組織名, 国名)によるブライトン宣言の正式採用を記録する。

スポーツや身体活動が、少女と女性の生活の中で果たすことのできる役割として、私たちはスポーツのあらゆる局面において女性が最大限に関わることを可能にし、それに価値をおくスポーツ文化の発展のため、ブライトン宣言の目的を支持する。

署名

.....

～長

立会人

.....

.....

第2章： 組織，システム，構造を変革するためのツール

8. コモンウェルスゲームズ連盟：組織的な変革の事例研究

ツールの概要

このツールには、スポーツプログラム、競技参加、そして最終的にはコモンウェルスゲームズのムーブメントにおけるリーダーシップの中で、ジェンダーがより公平になるためにコモンウェルスゲームズ連盟が着手している変革過程のステップ（段階）が記述されている。

いつ使うのか？

- ・ 長期的な変革過程の実例を探している時
- ・ モントリオール・ツールキットで示された多くのツールの使い方について知りたい時
- ・ 組織が変革できる／変革する希望が欲しい時

フォーマット

ここでのツールは、スポーツにおけるジェンダー・エクィティにむけた変革過程のステップを概説しながら事例として作成されている。各ステップで利用できる実例が載せてある。

ツール

変革は、個人、集団、あるいは組織が明確にある問題を知り、それから自分（たち）自身と他者を集合的な行動へと動員するときに始まる。大半の人びとが変革に抵抗を示すが、たいていの場合、それは意識的でも意図的でもない。すなわち人びとは、自分たちが知っている物事に対してだけより居心地よさを感じるのである。差別的なシステムや構造を変革することは長期的なプロセスである。痛みやいらだたしさを感じるかもしれないが、変革が起こればやりがいや充実感も同じようにやってくる。この事例研究は、より公平にかつより女性にとって利用しやすくする、ある組織の過程の例である。

国際スポーツ組織のほとんどがそうであるように、コモンウェルスゲームズ連盟も主に男性によって運営されている。過去8年にわたって、コモンウェルスゲームズ連盟は主にジェンダー・エクィティに専心してきており、また意義ある発展を遂げてきた。やるべきことはまだ多く残っているが、コモンウェルスゲームズ連盟は変革への前向きな姿勢を評価されるべきであろう。

ステップ1：鍵となるリーダーによる支援

1994年の大会でリーダーシップを変えることは、ジェンダー・エクィティの問題を扱うことができるという文化的な変革を生み出した。新しい議長による統率のもとで、以下のステップが促進・支持された。

ステップ2：事例を作る

1995年の国連総会でその問題（ジェンダー・エクィティ）に関する意識を高めるための方針説明が発表された。しかし正式発表であったにもかかわらず、その問題に対しての支持が不足しているという理由から意図的に審議を延期された。次の総会までに非公式の討論会を行ったり、1995年の第4回北京国連世界女性会議のような他の平等のためのイベントからの外圧によって、正式な動きになる十分な支持を勝ちとった。そして女性スポーツ委員会を創設する推薦状が受理された。

方針説明には以下の情報が盛り込まれている：

A. 序文

このセクションではメンバーが問題・用語を理解できるようにジェンダー・エクィティに関する何，なぜ，どのように（ツール2参照），について説明をおこなった。

B. 現状についての統計分析

このセクションでは以下のカテゴリーにもとづいて男性と女性の現状について概観した。

- i. コモンウェルスゲームズのスポーツとイベント
- ii. コモンウェルスゲームズの参加者数
- iii. コモンウェルスゲームズ連盟，コモンウェルスゲームズ協会，そして組織委員会のリーダーシップ

C. 目標と戦略

このセクションは，何が達成されるのか，そしてそれ，すなわち起こりうる，扱いやすい方法の事例をどのように成し遂げるのかについて概略した。目標と戦略のいくつかは以下に例としてあげてある。

1. コモンウェルスゲームズのスポーツとイベント

目標	戦略
コモンウェルスゲームズの中で女性向けの競争数を増やすこと	<ul style="list-style-type: none"> －男性と女性両者に向けたイベントを盛り込んだ新しいスポーツを確保する －招致委員会は提言したスポーツプログラムでジェンダー・バランスを表現しているかを確実にする －招致選抜委員会の評価基準にジェンダー・バランスを加える

2. コモンウェルスゲームズの参加者数

目標	戦略
どちらの性も大会での参加者数が 40% 以下にならないジェンダー・バランスを達成すること	<ul style="list-style-type: none"> －すべての国々に対して，女性選手を大会へ連れて行き出場させるように激励する －ナショナルチームにおいて女性のリーダー的立場（例えばコーチやチーム役員）を確保する －チームリーダーのジェンダー比率および選手のジェンダー比率と同様に確保する政策の採用をコモンウェルスゲームズ協会に働きかける

3. コモンウェルスゲームズ連盟，コモンウェルスゲームズ協会，組織委員会のリーダーシップ

目標	戦略
リーダー的立場の人物を採用または選出する際にジェンダー・バランスの機会を求めること	<ul style="list-style-type: none"> －女性がリーダー的役割を引き受ける機会をつくる －コモンウェルスゲームズ連盟とコモンウェルスゲームズ協会の候補者として女性が採用されることを保証する －組織委員会が，女性にスタッフとボランティアの両方でリーダーとなる機会を与えることを保証する

D. 推薦状

コモンウェルスゲームズ連盟は以下の委任事項（ツール 12 参照）とともに女性スポーツワーキンググループを作ること。

E. 付録

ブライトン宣言，IOC フォーラム，1995 年の北京国連世界女性会議を付録におさめた。

ステップ 3：女性スポーツワーキンググループを確立する

ワーキンググループは承認された委任事項を用い，また地理的なバランス（メンバーの出身地）とジェンダーの両バランスを保証しながらつくられた。

ステップ 4：行動計画を準備する

ワーキンググループは国内・国外の活動を導くために 3 カ年計画を用意した。活動計画には活動，課題，スケジュール，責任，そして計画を支援するための予算が盛り込まれていた。活動例は以下の項目を含んでいる。

- ・ IWG や IOC との関係性を築く
- ・ スポーツプログラム・組織のジェンダー・エクイティを保証するため招致都市と活動する
- ・ リーダーの立場に女性の数を増やす際に，サポートし，IOC の割り当てを満たすためコモンウェルスゲームズ協会への支援を提供する
- ・ 連盟の中でリーダーの地位に才能ある女性を採用したり推薦したりする
- ・ スポーツに関わる女性のためにコモンウェルスネットワークをつくる
- ・ 強固なコモンウェルスの存在と，1998 年ウィンドホーク世界女性スポーツ会議への参加を保証する

ステップ 5：定期的な報告

理事会と総会の議題に，ワーキンググループからの報告が加えられた。スポーツに関わる女性のための年一回のミーティングは，委員会のスケジュールの中に含まれた。定期的な報告が問題への継続的な気づきや理解を生み出し，進展を祝う機会に帰着した。

ステップ 6：データ収集

各コモンウェルスゲームズの後で，最初の方針説明で概略された 3 つのカテゴリー，すなわちスポーツプログラム，参加，そしてリーダー的立場における男性と女性のメンバーを反映するために統計が新しく更新された。データ報告の例を以下に示す。

スポーツプログラムにおける結果：

マンチェスター 2002 は，男性選手に対しては 16 の，女性選手に対しては 15 のスポーツ種目を含む，もっともジェンダー公平なスポーツプログラムを持っている。1990 年にはイベントの 34%が女性のためのもので，2002 年は 40%が女性選手のものであった。

ステップ 7：ロールモデルの提示

女性はいまだにリーダー的立場では陰に隠れた存在である。主席役員の間を歩いている女性は一人だけで，次位の女性はスポーツ委員会の任意に選出されたメンバーである。このような女性たちは，リーダー的立場にたどりつくよう，他の女性たちを鼓舞するロールモデルの役割をはたす。連盟やコモンウェルスゲームズ協会のレベルでももっと女性が必要とされている。国際レベルでの信用を勝ちとることは長期のプロセスである。多くの者は，競技力よりむしろ長く

関わっていただけることがリーダー選出の主な基準になると信じている（例えば“次は私だ”的態度）。

ステップ 8：ジェンダー・エクィティをスポーツプログラム報告の中に盛り込む

コモンウェルスゲームズ・スポーツプログラムの報告は、ジェンダー・エクィティをとりあげる素晴らしい機会をあたえてくれた。最初の段階で、ジェンダー・エクィティがスポーツプログラムを運営する原則の中に盛り込まれていた。

原則 5. ジェンダー・バランスは、参加国の数とコモンウェルス参加者の卓越したレベルに基準を合わせたスポーツを用意し、男性・女性の両方に対して国際連盟が開催する、あらゆるスポーツイベントへ男性と女性両者の参加を保証することで達成される。

スポーツプログラム報告がより洗練されたように、エクィティはコモンウェルスゲームズの中に含まれるものとして、

スポーツを評価するための 6 つの基準の一つとして加えられた。その 6 つの基準というのはコモンウェルスの参加、パフォーマンスの卓越度、市場性、エクィティ、スポーツの費用、そして国際連盟のかかり方である。

ステップ 9：組織文書でジェンダー・エクィティを定着させる

長期の変革にとって最も重要な方法の一つが、基本的な文書や組織や国の法律でジェンダー・エクィティを定着させることである。コモンウェルスゲームズ連盟のケースでは次の 3 段階で達成した：

- ・ 憲法においてジェンダーに中立な言語の使用に関して賛同
- ・ 憲法のジェンダー・エクィティに関する条項を含めること、そして
- ・ それを強化するために記事を改定すること

最終条項（2002 年 7 月に投票された）を以下に概略する

第 19 条：ジェンダー・エクィティ

理事会およびすべての委員と任務において、男性も女性も最低 20% もしくは（どちらの性が少なくとも）少ないほうの性の二人を代表とすべきである。もしジェンダーの代表権が選挙によって満たされないならば、理事会は第 13 項の手続きに従い新会員を選出しなければならない。

第 13 項：連盟における理事会、委員会メンバーの任意選出に関する手続き：

1. 任命は理事会によってなされなければならない
2. すべてのコモンウェルスゲームズ協会は、候補者を作り、コモンウェルスゲームズ連盟に直接または地域の副会長を通して履歴書を提出することを奨励されなければならない
3. 任命は真価によって（長所にもとづいて）なされなければならない
4. 理事会や他の委員会の選挙で 20% のジェンダーの代表権が満たされない所では、メンバーを追加選出しなければならない
5. 新たに選出された者には、あらゆる権利と票決に関する特権が認められる
6. 地域や選手代表の必要に応じて、他のメンバーが新規選出されるかもしれない

ステップ 10：ネットワークをつくる

変革プロセスが継続するので、現在の優先事項はコモンウェルスの女性スポーツリーダーに対する定期的なコミュニケーションと支援を確立することである。これは以前から非公式には行われてきていたが、テクノロジーの進歩、そして国際的なイベントや会議の増加がこの戦略を前進させる機会を与えている。コモンウェルスの会議は、2002 年の世界会

議とマンチェスター大会と関連して開かれる予定だ。そこでは女性リーダーのための強力なサポートネットワークをつくり、コモンウェルスゲームズ・ムーブメントとともに、実力のある女性がリーダー的立場に選出されることを保証する可能性が多いにある。

最後に、コモンウェルスゲームズ連盟がジェンダーに公平な組織であると自負できるまでに、まだやらなければならないことはたくさんあるのだが、しっかりとした進展をしながら、年ごとに解決にかかわる人が増えている。

9. 国内のジェンダー・エクィティ政策

ツールの概要

政策声明は共通して何をする必要があって、どうしてなのかを明らかにするために利用される。国内のジェンダー・エクィティ政策のツールは、国内政策に含まれる基本的な情報を概略している簡単な枠組みを提供している。また、オーストラリアのスポーツ委員会によって作られたアクティブ・ウィメン政策を利用しているモデルも提供する。

いつ使うのか？

- ・ ジェンダーとスポーツに関する問題への認識を高める必要がある時
- ・ 上部の政策担当者から現状変革への公約を得たい時
- ・ 行動を起こすために資源の委託を望む時

フォーマット

チャート式のフォーマットで枠組みを示す。その後、オーストラリアアクティブ・ウィメン政策の例が続いている。

ツール

A. 政策の声明	たいていの場合 予定された変革 や政策結果を概略する 声明 を一文であらわす
B. 政策への理論的根拠	なぜそれが必要なのか？何を 変革する必要があるのか？
C. 望ましい結果	政策の効果的な実行の結果として 何が 変わるのだろうか？
D. 利点	誰に 利点があり、そして どのよう に？
E. 戦略	どのよう に変革はなされるのか？
F. 実行に関する評価	成功したと どうや って知ることか？

A. 政策の声明（たいていは予定された変革や政策結果を概略する声明を一文であらわす）

“オーストラリアは、わが国のスポーツ、レクリエーション、身体活動のあらゆる側面にすべての女性や少女の参加を十分促進し支援する文化を育まねばならない。”

B. 政策への理論的根拠（なぜそれが必要なのか？何を

変革する必要があるのか？）

“オーストラリアの成人の 3 分の 1 が 30 分の適切な強度の運動—ほぼ毎日のウォーキングで、最近の統計が示すそれは健康を維持するために最低限必要な運動である—さえ行っていない。

より身体的に活発になることが、QOL（生活の質）への鍵となるステップである。スポーツやレクリエーション産業のあらゆる局面への女性と少女の参加は、より広いコミュニティに対して社会的・経済的效果を与える。たとえばそれは、地域の健康促進、さらなる支援ネットワークの確立、反社会的行動の抑制、よりよい地域の主体性を創造することなどを含む。

歴史的に女性と少女は、スポーツ、レクリエーション、身体活動への参加に関して障害を経験してきた。これは彼女たちだけでなく地域も自分たちの利益や報いを得ることができないことを意味した。過去 10 年にわたって、この状況を是正し、女性と少女のための機会を促進するために、オーストラリアや海外でいくつかの戦略が開発されてきた。このような戦略は、オーストラリアだけでなく国際的にもスポーツやレクリエーション、身体活動への女性と少女の参加と彼女たちのために、競技の機会をある程度増やす結果となっている。このような機会は、ネットボール、ソフトボール、

バスケットボール、クリケット、サッカー、ホッケーの国内リーグの誕生から、コモンウェルスとオリンピックで研修やスポーツ数の増加に至るといふ戦略によつてもたらされた。

しかしながら、このような先導や改善にもかかわらず、スポーツ、レクリエーション、身体活動のすべての局面において、女性と少女の存在はいまだ十分ではないと調査では報告されている。公平ではない状態を浮き彫りにしている指標と、特にスポーツへの参加率の低さは以下のものを含んでいる：

- ・ 男性や少年よりも低い参加率
- ・ リーダーシップ、マネジメント、意思決定すべての領域で不十分な存在
- ・ 特にエリートレベルでのコーチング領域すべてにおいて不十分な存在
- ・ メディアの不十分かつ不適切な報道
- ・ 男性と少年よりも多い‘ドロップ・アウトする（辞めてしまう）’率
- ・ 男性や少年よりも少ないスポンサーシップ（後援）と資金、である。

女性と少女の低い参加率に直接原因がある要因は以下のものである：

- ・ 時間不足もしくは時間不足という認識
- ・ 社会的なステレオタイプ
- ・ 育児施設の不足もしくは育児施設という選択の意識不足
- ・ 参加できる機会の不十分さ
- ・ 家族的責任のために削減されたレジャー時間
- ・ 個人的な安全への関心
- ・ 財政資源へのアクセス不足
- ・ ハラスメント
- ・ 何が利用できるかについての情報不足
- ・ スキルの欠如
- ・ 文化的に適切な施設／プログラムの欠如
- ・ 一人で運動に接近する自信の欠如
- ・ 行きやすく手ごろで満足できる施設やサービスへのアクセス不足
- ・ 文化的・社会的プレッシャー”

C. 望ましい結果（政策の効果的な実行の結果として何が変わるだろうか？）

“政策は（以下の～によつて）文化を育まねばならない：

- ・ 女性と少女のためにスポーツ、レクリエーション、身体活動へのアクセスを改善すること
- ・ スポーツ、レクリエーション、身体活動において女性と少女のために満足度と幅広い選択肢を増やすこと
- ・ 主要な意思決定とスポーツ、レクリエーション、身体活動のリーダー的立場における女性と少女の数を増やすこと
- ・ 定期的に身体活動をおこなう女性や少女の数を増やすこと
- ・ スポーツ、レクリエーション、身体活動の提供者にそこにいる女性と少女のニーズやそこにかかわる問題への認識を高めること
- ・ さまざまな政府・非政府機関とスポーツ、レクリエーション、身体活動に関わる女性や少女のニーズ、そしてそれらに関する問題を扱っている組織との協力や連携を高めること
- ・ スポーツ、レクリエーション、身体活動に女性と少女が関わることでよい実践を確立・認識・促進すること
- ・ スポーツ、レクリエーション、身体活動において女性や少女の地位、そして一般認識が高まること”

D. 利点（誰に利点があり、そしてどのように？）

“オーストラリアの女性と少女にもたらされる利点というのは：

- ・ 幅広いスポーツと身体活動に参加するより多くの機会
- ・ 安全でよく整備された、文化的に適切なスポーツ・運動施設へのよりよいアクセス
- ・ スポーツや運動で可能性を満了するためのよりよい機会
- ・ クラブやスポーツ組織、政府機関における意思決定役割へのよりよいアクセス
- ・ 自尊心と自己イメージの向上
- ・ 健康と QOL の向上
- ・ 喜び、刺激、個人的な挑戦、より良い社会的接触といった気持ちの向上
- ・ より集中、記憶力、学習力、想像力
- ・ より健康認識（健康な食事摂取の可能性や禁煙をする、ストレスへのよりよい対処へとつながる）
- ・ 心臓病、心拍数、高血圧、高血中コレステロールへの低い危険性
- ・ 血中脂質濃度の低下
- ・ よりよいブドウ糖負荷
- ・ 低い糖尿病罹患率
- ・ 免疫組織向上の可能性
- ・ 乳がんになるリスクの低下
- ・ 生殖器の癌になるリスクの低下
- ・ 呼吸機能、筋肉の柔軟性、体力と持久力の向上
- ・ よりよい体重コントロール
- ・ 高齢の女性にとっては骨密度の維持と、転倒によるけがの危険性が低いことによる身体的自立の延長
- ・ スポンサーシップ（後援）やメディア報道を魅了するよりよい能力、そして
- ・ スポーツ・コミュニティの中でのよりよい地位と認識である

オーストラリアのコミュニティにとっての利点は：

- ・ オーストラリア女性・少女にとってのよりよい身体的・精神的健康と幸福な状態
- ・ より適切かつ公平なシステム
- ・ スポーツ、レクリエーション、身体活動へ参加する家族のためのよりよい機会
- ・ 低い医療費
- ・ よりよい雇用状況
- ・ 国内の経済的見通しの改善
- ・ より多くの旅行
- ・ 家族のいない者への支援ネットワークの促進
- ・ 女性エリート選手の成功と認知による国内のスポーツ・プロフィールの向上
- ・ スポーツ、レクリエーション、身体活動のジェンダー・エクィティに関する世界のリーダーとしてのオーストラリアに対する認識、である。

スポーツ、レクリエーション、身体活動を提供する者にとっての利点というのは：

- ・ 市場の拡大
- ・ 少女と女性がドロップ・アウトする比率の減少

- ・ 増加している多様なコミュニティのニーズに見合う高い能力
- ・ より多くの会員と参加収入
- ・ より大規模なボランティア（コーチ、役員、審判を含む）の潜在的要員
- ・ より大規模な参加者の潜在的要員（組織にとってのより高いプロフィールに結果としてなる）
- ・ 意思決定役割における人たちの多様な経歴、見方、スキル、才能、そして能力を拡大することによるより良いマネジメント。”

E. 戦略（変革はどうやってなされるのか？）

（注：アクティブ・ウィメン政策は、公正と平等、参加と幸福、教育と情報という3つのガイドラインにもとづいて“いかに変革するのか”を考えていくが、ここでは政策の内容すべてを提示していない。）

“公正と平等（エクィティとイクオリティ）

スポーツやレクリエーション、身体活動を提供する団体や個人は、資源の企画と配分、権力と責任の配分を含むあらゆる領域において、ジェンダー・エクィティを言及していかなければならない。特に、女性や少女にとって利用できる機会や成果に不公正がある場合、それを是正していくべきである。

特に留意すべきこと：

- ・ 安全かつ手ごろな値段、アクセスしやすく文化的に適した環境を保証するスポーツ、レクリエーション、身体活動のための施設を計画し、設計し、経営すること
- ・ 公正な範囲で参加機会の選択を保証すること
- ・ ハラスメント、虐待（いじめ）、暴力、搾取、差別をすべてなくすこと
- ・ 高いレベルのスポーツプログラムと支援サービスを保証すること（女性選手特定のニーズや要件を考慮し、そのようなプログラムを伝え、公正にサービスを支援する大会、スポーツ科学、プロモーション、スポンサー、メディアとの連携、財政支援を含む）
- ・ 部門同士、また国同士の協力でジェンダー・エクィティを促進し、いい実践例を分かち合うこと

参加と幸福

部門間の効果的な協力は、以下のことを保証すべきである。それは、健康や幸福に対する身体活動の重要性がさまざまな社会的・文化的・身体的な背景や境遇に置かれたすべてのオーストラリアの女性と少女に届き、鼓舞するよう伝えていくことである。そして、女性と少女に影響を与えるようなスポーツ、レクリエーション、身体活動の健康的利点と危険性の両方について、明確に理解されるよう努めなければならない。

スポーツ、レクリエーション、身体活動の機会を提供する者は、女性と少女の参加、一般的な健康や幸福を向上させる政策・プログラム・戦略を、以下のことによって発展させていく必要がある：

- ・ スポーツ、レクリエーション、身体活動に定期的に参加するよう促していくこと
- ・ あらゆる背景と境遇をもった女性と少女の価値、要求、願望が考慮されることを保証すること
- ・ あらゆるレベルにおいて女性のコーチ、指導者、意思決定者、役員、理事の人数を増やすこと
- ・ 意思決定やリーダーという役割において女性と少女の採用、開発、保持に特に注意を向けること、である。

教育と情報

予算、育児サービスの開発と提供、教育、養成、学校やその他の教育機関の開発と研究プログラム、スポーツ・レクリエーション産業に責任のある団体は、以下のことを保証しなければならない：

- ・ バイアス（偏見、偏向）のない待遇を保証し、洗練され総合的な運動技能を育み、子どもたちにとって日常的に不可欠な栄養を提供する食料や飲み物を保証する
- ・ ジェンダーという視点の内包性と公平性を反映し、学校コミュニティの関係性を築き、スポーツや身体活動の身体的・心理学的・社会的利点に対し、高い認識を結びつける体育の授業を通して積極的な学校環境を創造する
- ・ スポーツ、レクリエーション、身体活動における女性の役割を正確に反映する；女性の価値、態度、経験（文化的価値を含む）、能力のレベルを考慮する；ジェンダー・エクィティや文化的多様性に関連した問題を言及する
- ・ 情報や研究がジェンダーの視点を内包し、効果的なパラメーターに基づいていることを保証しながら、女性に関する知識や理解を高めるために政策やプログラムを開発する
- ・ スポーツ、レクリエーション、身体活動を行う女性と、それらの女性に関わる重要な問題を憲章する研究者すべてを励ます
- ・ 英語の文書以外の形式で関連した情報や資料を伝えていく際、識字レベルのような難しい背景や境遇をもった女性と少女のニーズを考慮する。”

F. 実行の評価（うまくいったかをどのように知るのか？）

“この政策が多くの成果をもたらすこと、そしてさまざまな産業部門、政府機関とその水準が、それぞれの方法でさまざまな成果を示すことが予想される。これを考慮し可能性のある予算的な制約を見込みながら、この政策の評価は、基準となるデータが現在利用できるという選択された重要な問題に焦点をあてる。質的・量的データが 2002 年のステークホルダー（利害関係を持つ人々の総称）との組織的な諮問を経て収集される。

以下に示した現在利用できるデータと比較して、将来のデータが上向き傾向になることを期待している（注：もとの政策はオーストラリア既存のデータリストを含んでいる）。

追加データ：上記したように、さらなる質・量的データが、2002 年に、オーストラリア周辺の主要なステークホルダーに対して行われる組織的インタビューから収集される予定である。取り組みに対して述べ、政策を実行に移す計画のある意思表示をしたステークホルダーたちに対し、起こった変化や変革の成果をはかる 2002 年の基準に照らして団体を査定するために、インタビューを行う。

10. 戦略的な枠組みと計画

ツールの概要

一般的に、戦略的な計画は変革に影響をあたえ、共通する方向で取り組んでいるチームをつくるために用いられる。戦略的な計画づくりにおいて、わたしたちは環境、組織の内外、望ましい組織の場所について情報が左右することを利用していくことについて考えていく。戦略的な枠組みと計画のツールは、戦略の簡単な枠組みの例と、アフリカゾーン6の女性スポーツ委員会からの例を提供する。

いつ使うのか？

- ・ 可能性のある現実的な判断に基づき、どの方向へ行くべきかを決定したい時
- ・ 所有権や共通の方向、将来の展望への関わり方を築きたい時
- ・ 同じ進路にいる、異なった仲間やグループに注目するための共通の方向が必要な時
- ・ どこに進もうとしているのか、何をやろうとしているのか、何を信じるのかななどを明確にしたい時

フォーマット

枠組みの部分とゾーン6（戦略的な枠組み）からの例をチャート式で簡単に解説する。

ツール

変革のための実践的かつ革新的なツールとして、戦略的な計画作りは莫大な可能性を秘めている。戦略的な枠組みは、将来の計画（進むべき方向）と現在の活動（今いる場所）のギャップをはっきりと表してくれる。戦略的な考えと経営の重要な点は、組織の将来と目的に対する環境およびそれらのかかわりを注意深く考慮していくことである。以下に示してある表は、戦略的な計画作りの構成要素と戦略的な枠組みの重要性を理解する上で役立つ1つのモデルである。

戦略的な枠組み	<p>現在の環境、傾向、さまざまな関係者のニーズの評価をざっと見ることで、戦略的な枠組みが、以下のことを含みながら作られる：</p> <p>ビジョンは望ましい組織の未来—現在よりも改善され異なった組織—を描き出す。将来を望むビジョンは、内部・外部の環境を考慮しながら達成可能で魅力的な将来に向けた現実的視野を提供する。</p> <p>価値は、すべての活動を導く道徳的で倫理的な優先事項を確立する、核となる信念と確信の声明である。価値は、何が正しいことなのか間違ったことなのか、重要なことなのかそうでないのかについて伝える。</p> <p>ミッション〈使命〉とは、組織の目的や組織が応じようとする機能に関する、簡潔で明確な声明である。ミッション声明は、組織のビジネスは何か、誰のためのビジネスか、その機能を組織はいかに果たすかという3つの質問について答えている。</p> <p>戦略的な方向は、現在から望ましい将来に向け進んでいくために、重点をおく必要のある領域をさす。</p>
----------------	--

目標設定	<p>目標は、望ましい将来に到達するために果たされる必要があることについて広く、しかし明確に定義された声明である。</p> <p>優先事項は、目標に到達し将来のビジョンをつかむために必要とされる最も重要なイニシアティブや活動である。</p>
成績評価	<p>結果や到達は達成されるであろう成果を描き出す（人によって異なるであろう成果）。</p> <p>成績表は成功を示す際に用いられる尺度となる。</p>
活動計画	<p>活動は目標へ到達するためになされなければならない行動である（何を）。</p> <p>課題は活動を成し遂げるのに必要な、管理可能な仕事量である（いかに）。</p> <p>責任は課題を達成するためにさまざまな個人やグループに割り当てられる（誰に）。</p> <p>スケジュールを各課題のはじめと終わりに設定する（いつ）</p> <p>資源が各課題の割り当てに必要であり、それには人的・財政的資源が含まれる（何と）。</p>

戦略的な枠組みの例

下記に示した例は、アフリカゾーン6の女性スポーツ委員会の戦略プランにおけるビジョン、価値、ミッションである。

“ビジョン 2005

女性とスポーツゾーン6委員会は、しっかりとした有力かつ前進的な主張グループであり、加盟国すべての国における女性とスポーツ政策に影響をあたえ、指導をしている。

他の関係者とのネットワークを通じて、利用しやすく安全な施設の自由かつ差別のない環境において、あらゆる水準のスポーツとレクリエーションに参加する女性と少女の高いレベルを保証する。

価値

女性とスポーツゾーン6は、

- ・ 公正と誠実
- ・ 支えとなるもの
- ・ コミットメント（取り組み）
- ・ 責任と透明さ
- ・ 持続可能性
- ・ 機知に富んでいること
- ・ 多様性
- ・ フェアプレイ、を信念としている。

ミッション

女性とスポーツの役割や参加と、主張、気づき、能力形成、そして地域の協力を通じて少女を増やす機会をつくること”

戦略的な枠組みがいったん適切におかれれば、組織は望ましい将来（すなわちビジョン）と現状のギャップを認識することができる。次の重要なステップのためにツール 20 を再度確かめること。

11. 男女平等なスポーツ組織

ツールの概要

このツールは以下のカテゴリーにもとづき、組織がいかにジェンダー公正であるかの評価を提供する。

- ・ システムと構造
- ・ リーダーシップ
- ・ 資源配分
- ・ プログラムづくり
- ・ 教育、気づき、プロモーション

いつ使うのか？

- ・ 自分の団体がジェンダー公正をより充実させるため、どのようにしているかという断片が欲しい時
- ・ 自分の変革プロセスのために新しい戦略を必要とする時
- ・ 戦略的プランのために目標と活動に関する原本の文書が欲しい時

フォーマット

評価ツールは、よりジェンダー公正になるアクションのために優先事項を決めるのに役立ち、すでに達成したアクションを讃えるためにつくられた詳細なチェックリストである。各戦略はすでに成し遂げたかどうかを決めていく。まだであれば、重要性と時間枠に関する戦略の優先順位を決定する。

ツール

ジェンダー公正な組織をもたらすことは、構造的な変化、価値・規範・方針の新たな方向、新しい経営実践を含み、公正さに対する個人の姿勢を変えていく。このツールは、あなたが挑戦していくことを手伝えるために、可能性のある戦略の評価を通じて、あなたの団体がどこに、そしてどんなタイプの戦略を必要としているのかを決める方向づけをしてくれる。

各戦略には右側に三つの欄があり、次のように適した欄をチェックする：もし戦略が実行されていたら完了の欄をチェックし、優先順位に関しては、1（高い）2（普通）3（低い）であらわす。時間枠は短期（S）、中期（M）、長期（L）とつける。このようなチャートを利用することで、組織がいかにジェンダー公正であるか、そしてそれを改善するのに最も重要である優先事項は何であるかを決めていく。

目標を実現すること：戦略	完了	優先順位 1,2,3	時間 S,M,L
1. システムと構造 目標 1.1： 組織内部の運営や姿勢を改善するジェンダー・エクィティ政策を開発する。 <ul style="list-style-type: none">・ ジェンダー・エクィティに関する政策声明を開発し広く配布する・ ジェンダー・エクィティ・プログラムの実行に対して公的で積極的な取り組みをする・ ジェンダー・エクィティに責任のある委員や役員の立場を（適切なサポートとともに）確立する・ ジェンダー・エクィティ政策の発展と監察を行うスタッフを			

<p>割り当て、組織のために計画する</p> <ul style="list-style-type: none"> ジェンダー・エクィティが組織のビジョン、ミッション、構造、内規、戦略的計画、他の基本的文書の一部であることを保証する スタッフ、理事、コーチ、選手、役員に必要な道具と、ジェンダー・エクィティ計画を実施する動機づけのために教育プログラムを開発する ジェンダーに中立である言葉、全ての出版物、ビデオ、広告における女性と男性の描写バランスを要求している政策を採用する ボランティア、有給の理事、役員、コーチ、選手に適用可能なハラスメントに関する政策を採用する。苦情処理体制、懲戒行為、控訴手続きを明確にする 自分の組織の中で性差別に関わる問題を評価するために、中立で公平な裁定体制を確立する <p>目標 1.2：組織のあらゆるレベルで女性の参加が高まる雇用と募集を実践する</p> <ul style="list-style-type: none"> 応募者の能力が等しく、女性が組織の中で陰に隠れた存在である時は、女性を積極的に採用する 委員へのすべての採用と選出において、女性と男性のバランスを含む ボランティアの仕事や家事経営といった生活経験を、雇用を決定する際に有効な資格として価値をおく スポーツ組織において、有給あるいはボランティアで働く機会が可能であることを女性選手に知らせる 女性が訪問したり読んだりする場所やメディアの様子を宣伝する スポーツ組織を均等な機会の雇用者であると表現することによって女性の応募者を励ます 女性が自分の組織にとどまる、もしくは戻ってくることを促進するために、柔軟に対応できる仕事のスケジュールや仕事共有型の機会を考える 可能である限り女性候補者を最終候補に確保する <p>目標 1.3：引退した選手の（あなたのおこなっている）スポーツへの復帰を促す</p> <ul style="list-style-type: none"> （あなたのおこなっている）スポーツを引退した女性選手に、定期的に情報を送る。大会に選手を招待したり、あるいはスポーツへの復帰を励ますよう彼女たちにアプローチする。 			
--	--	--	--

<p>目標 1.4：ジェンダー・エクィティの目標をサポートする研究活動を確立する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パターンや傾向を決める方法として参加者や選手，リーダーたちのジェンダー（性別）に基づく統計を収集する。 ・ データバンクで調査を続け，タイミングよく結果を伝える。 ・ 結果に基づいて新しい目標を作る。 <p>目標 1.5：女性の参加を制限する障壁を減らすためにサポート・サービスを作り，改善する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ミーティングや競技会のために，育児や介護の財源・サービスを準備する。 ・ 輸送機関と登録補助金を提供する。 ・ 女性にとって安全で利用しやすい施設を保証する。 <p>2. リーダーシップ</p> <p>目標 2.1：女性がスポーツでリーダーシップの役割に就く平等な機会を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ すべての政策と意思決定委員会で，女性と男性が等しい人数になることを保証する。あらゆるリーダー的立場で少ない比率であった性別を 40%にするという目標をもち，その目標にむけての予定表を作る。 ・ 一人の人が委員である任期，あるいは役員に選出される任期を制限する。 ・ みんなが機会を増やせるよう，多様なポジションを独り占めしないようにする。 ・ 専門領域，管理領域の両方でリーダーに適した資格のある女性を採用する。 ・ 元選手や他の女性を，組織の責任あるポジションへとひきつけるための採用プログラムを作る。 ・ 女性を国際スポーツ連盟へと昇進させる。 <p>目標 2.2：リーダーシップの分野で専門的な開発に向け，女性に機会を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性がより位の高いボランティアや有給のポジションへ進めるよう専門的な開発や見習い基金を配分する。 ・ 影響力のあるポジションにいる人（有給であれ無給であれ）へ近づける教育的機会を女性を得ることを確保するための特別な尺度を含む。 ・ キャリア・プランを発展させ実行する際に女性を手伝う；機会を説明しながらキャリアにむけた情報を提供する。 			
--	--	--	--

<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性に見習いプログラムと指導を受ける機会を提供する。 ・ 女性が少女や女性チームの監督になるよう励ます。 ・ 女性が資格のあるコーチや役員になるよう励ます。 ・ 未経験の女性がリーダーの立場や管理者、コーチ、役員である女性の仕事を観察できる“仕事の影 (job shadow)”プログラムを作る。 ・ 差別、権力関係、ハラスメント、同性愛嫌悪といったジェンダー・エクィティ問題をリーダーが学ぶことを確実にする。 <p>3. 資源の配分</p> <p>目標 3.1：身体活動やスポーツの中で少女と女性に資源が平等に配分されることを保証する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少女と女性に（スポーツに）参加し競技するための平等な財源、施設、指導、時間、場所、そして道具を提供する。 ・ 組織で公的・私的財源の支払いに対し、必須の基準として均等な機会を利用する。女性と男性の競技チームに等しく財源を配分する。 ・ 人的資源（スタッフやボランティア）が等しく配分されることを保証する。 ・ 少女と女性が均等な機会を持っていることを保証するために（必要あらば）財源を提供する。 ・ 安全な輸送機関や手ごろな会費であることを保証するために補助金を女性に提供する。 ・ スポンサーが女性と男性両方のプログラムを等しくサポートすることを確保する。 ・ 女性と男性の競技会の賞金は同じであることを保証する。 <p>4. プログラミング</p> <p>目標 4.1：少女と女性のプログラムのニーズを認識させ、彼女たち向けのプログラムの数と種類を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性の参加者、選手、リーダーの意見を求め、そのニーズや関心にあうプログラムを開発する。 ・ 少女と女性のためのプログラムを提供するために女性を雇い、女性ボランティアを選出する。また、積極的な例として、例えばインストラクターやコーチを務める。 ・ 主要な時間（ゴールデンアワー）を含み、少女と女性にとって便利な時間と場所で活動を予定する。 ・ 少女と女性がスポーツのあらゆるレベルで等しい比率で表象されるまで、必要な時には特別な尺度や付加的なプログラムを実行する。 			
---	--	--	--

<ul style="list-style-type: none"> ・ 少女と女性にとって安全な場所で提供されるプログラムを保証する。 ・ スキルを高める機会を要求し、欲している人たちに提供する。 <p>目標 4.2：スポーツ領域に女性を募集するために作られたプログラムを開発する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性が伝統的ではないスポーツや審判，コーチ，国際的な代表者などで，女性の比率が少ないスポーツ領域に女性が参画するようなプログラムを紹介する。 ・ 女性コーチがナショナルコーチになる機会を保証するプログラムを作成する。 ・ 募集プログラムを特に女性選手を目標に定める。彼女たちの参加が男子選手のそれとは同じではないプログラムの特別な尺度を紹介する。特別な尺度とは，給料の補助金，奨学金，見習い制度，養成プログラムを含んでいる。 ・ 競技重視を緩和し，（多くの女性にとってより魅力的な）スポーツの楽しさを助長するリーグやプログラムをデザインする。 <p>目標 4.3：スポーツにおいて最高のものを追求している少女と女性にとって，競技会や練習の機会が少年や男性に与えられているものと同じであることを保証する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高い競技レベルで，女性と男性に同じ数と質のプログラム選択を与える。 ・ 家族的責任のある人や特別なニーズのある人に対応できる柔軟なトレーニング・プログラムを提供する。 ・ 国内や海外での競技会で女性選手に平等な競争の機会を提供するために国内，海外のスポーツ組織にはたらきかける。 ・ 女性選手に平等な競争の機会を提供するために教育機関に働きかける。 ・ 性別テスト（性別確認検査）のような差別的行為をなくすために，海外の連盟に働きかける。 ・ 同じ数の女性と男性が，ナショナルチームの資格を得，代表選手になることを保証する。 <p>5. 教育，気づき，そしてプロモーション</p> <p>目標 5.1：少女と女性がスポーツの中で直面している特別な問題を気づくよう促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スタッフ，役員／委員，他の一員にジェンダー・エクィティ 			
---	--	--	--

<p>のワークショップを行う。スポーツ組織の法的責任についての教育も含む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ジェンダー・エクィティと組織の平等プログラムへのサポートを得るために、作成された教育政策とプログラムを発展させる。 会議、クリニック、政策、計画づくりの会合では、少女と女性が直面している特別な問題を扱う話題を含む。 少女と女性に関する問題が取上げられ、言及されるようなフィードバックの流れを確立する。 取上げられた問題を確実にするために、スポーツ会議への参加に関して女性を候補者や代表として選出する。選ばれた女性がすべての女性の声を代表する必要がないように、女性を1人以上選出するようにする。 組織にとって内在的、外在的両方の法的解決策—参加への障壁を是正するために利用されうる—に関する情報を女性に提供する。 <p>目標 5.2: 両性を含む積極的な言葉と視覚的イメージを使う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 方針、内規、ルールブック、レポートでジェンダーに中立な言葉を使用する。 スポーツの中で積極的な少女や女性の視覚的イメージを促進する。性差別的な視覚的イメージはすべて排除する。 <p>目標 5.3: スポーツにおける少女と女性に対し、積極的かつ公的な態度を浸透させるために、促進・広告キャンペーンをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> あらゆる促進的かつ教育的なプログラムにおいて、積極的な方法で少女と女性を描写する。 あらゆる促進方法で少女と女性の全体的な健康と幸福に関わるスポーツの恩恵とその効果を強化する。 新聞、雑誌、女性の出版物で少女と女性のプログラムを促進する。 少女と女性へのプログラムに関する方法を分配するために、地元の女性団体や組織（例えば、教会やコミュニティセンター、女性センターなど）と連携をとる。 スポーツにおける女性を奨励するために講師を統括する事務所（speaker's bureau）を確立し、恩恵を自覚するよう手助けする。 <p>目標 5.4: スポーツに関わる女性を報道するメディアの質と量を向上させる。</p>			
--	--	--	--

<ul style="list-style-type: none"> ・ 少女と女性のメディア報道を増やし，改善する責任を割り当てる。 ・ メディアにおける連携を発展させ，スポーツに積極的な少女と女性の特集記事，統計，成果，写真をメディアに供給する。 <p>目標 5.5：スポーツに関わる少女と女性に対する認識システムを設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツにおける少女と女性の認識を促進するために積極的な戦略を開発する。例えば，賞の候補者の推薦など。 ・ スポーツへの貢献に対し賞金，奨学金，ツアーチームとの旅行，ニューズレターの記事を通して少女と女性への認知を与える。 ・ 女性の業績の歴史を文献に付記する。 ・ スポーツにおける女性のロールモデルを促進する。 			
--	--	--	--

12. 女性スポーツ委員会への委任事項

ツールの概要

このツールは、女性スポーツ委員会への委任事項を作成するための型（テンプレート）と、委任事項の 2 つの例を提供する。

注：組織が実行する戦略の一つは、女性スポーツ委員会を設立することである。これは女性を“周縁化する〈重要視しない〉”かもしれないが、ほとんどの組織でジェンダー問題を委員会に対して委任することは前進である。

いつ使うのか？

- ・ 女性スポーツ委員会の設立を促進したい時や、その役割、責任、説明を明確に定義する必要がある時
- ・ 委員会を設立した時や、その役割、責任、説明、構造を明らかにしたい時

フォーマット

ツールは、委員会の委任事項を作成するための型（テンプレート）である。例は女性スポーツ委員会のものであるが、どの委員会にもこのテンプレートは利用できる。

ツール

1. 委員会の目的（何を達成したいか）
2. 目標（計測できるステップ）
3. 予測される結果（どんな変化が誰に）
4. 特定の責任とスケジュール（活動とスケジュール）
5. 伝達と説明（誰に報告するのか、誰に伝達するのか？）
6. 委員会の詳細
 - ・ 構成（委員の構成）
 - ・ 期間の長さ（明確にされた年数）

例1：香港（中国）のスポーツと女性委員会

委任項目はその委員会の期待される成果を明確にする。

1. スポーツ活動は女性の身体的、精神的健康を保証する基本であるという気づきを起こさせること。
2. 身体活動やスポーツ組織に女性が参加し、関わっていくことを促進すること。
3. メジャーなスポーツ競技や試合に女性が参加するために、平等な機会をめざして努力すること。
4. 女性選手の業績を公表すること。
5. スポーツに関わる女性の具体的なニーズを表現するために、女性とスポーツに関わる教育的な活動の一つ計画すること。
6. スポーツ連盟や香港オリンピック委員会そして加盟組織に、組織で意思決定をする立場に女性をもっと充足させるよう要求すること。

例2：コモンウェルスゲームズ連盟の女性スポーツワーキンググループ

目的

- ・ コモンウェルスゲームズのムーブメントにおける変革を実施するための管理計画と優先事項を作成し、その進展をみまもること
- ・ 女性問題やジェンダー・エクイティに関してコモンウェルスゲームズ連盟にアドバイスすること
- ・ 革新的で平等なアプローチとイメージを開発し維持する際に、コモンウェルスゲームズ連盟とコモンウェルスゲームズを補助すること

具体的な責務

- ・ ジェンダー・エクイティの方針説明書の計画を実行するために行動計画を用意する
- ・ コモンウェルスでスポーツに関わる女性のデータベースを維持管理する
- ・ 各総会にむけてジェンダー・エクイティに関する進展報告を準備する
- ・ コモンウェルスゲームズ連盟の理事会にむけて年間の進展報告を準備する
- ・ 国際的な女性とスポーツ会議でコモンウェルスゲームズ連盟の適切な代表を推薦する
- ・ コモンウェルスゲームズ協会に、要求された場合、ブライトン宣言の採用と実行、目標設定、その国で少女と女性のためにスポーツを改善するための戦略、に関してアドバイスをする
- ・ ジェンダー・エクイティに対して誘致、方針、手続き、約束を評価する

伝達と説明

- ・ 少なくとも年に一度は、役員と総会に報告する
- ・ 役員、執行委員、コモンウェルスゲームズ協会と組織委員とともに活動する
- ・ 女性問題に関して、国際女性ワーキンググループ、IOC、コモンウェルス事務局、CHOGM と正式に連携をとる

ワーキンググループの構成

- ・ 男性と女性を含む最大 6 人からなるコモンウェルスの地区の代表で、手紙、電子メール、テレビ会議（遠隔会議）で対応し、コモンウェルスゲームズ連盟の総会に付随して毎年集まる。

注：この地域で貢献したい人すべてがワーキンググループに参加できるよう、人数の制限はなくなった。2001 年のミーティングでは、27 カ国 47 人が参加した。

13. 会議主催者のためのガイドライン

ツールの概要

会議は、スポーツに関する知識を広めるために重要な役割を果たし、またネットワーキングや個人的／専門的な発展のための機会を提供する。したがって会議は、スポーツの文化と実践に影響をおよぼす重要な媒体となる。

このツールは、スポーツと身体活動に関わる会議主催者に向けて述べられている。それは、ジェンダーとスポーツに関する知識を広める方法として開催される会議をサポートし、女性の最大限の関わりや貢献を重視するスポーツ文化の発展を援助するために作成されている。

いつ使うのか？

- ・ 会議を主催する際
- ・ 会議がバランスの取れたスポーツ文化を反映していることを保証するため、このツールを会議主催者に提供したい時

フォーマット

ツールは会議主催者によって検討されるべき項目のチェックリストであり、IWGによって準備され配布されている。

ツール

会議内容

ジェンダー問題に関するテーマと基調講演を含む。

発表者すべてにジェンダーに中立な言葉を使用するよう指導し、男性、女性両方のスポーツから資料や例を提供する。

リーダーシップ

運営委員、企画委員に関して、セッションの代表、基調講演者、ワークショップの代表のように男性と女性の適切なバランスを促す。それぞれの性別が少なくとも40%に達するようにする。

マーケティング

販売・出版物に関して、女性参加者の興味をそそり、ステレオタイプではないイメージや言葉を含んだ製品を保証する。

財源

専門的・科学的な会議へ女性が参加する際の大きな障害はしばしば財源である。女性のために料金の割引や奨学金を、可能なところに動かすべきである。

開催地

女性に親しみやすく、アクセスのしやすさ、安全性、快適さと料金に留意しながら開催地を選ぶ。

子どもと一緒にいる女性参加者や会議スタッフに食事を提供する。

代表者

開催団体が何人かの代表を送るよう要求している場合、少なくとも50%は女性であることを提案し、もし1人の代表だ

けを送り出す場合は女性が推薦されるべきである。

ネットワーキング

男性主導の会議では、女性代表者がネットワーキングの機会をもてるよう設定する。会議への参加が初めての女性代表者や自分自身を他人に紹介するための指導者や案内人の選択に不慣れな女性代表者に自信を持たせる。

社交的なプログラム

女性が楽しめる社会活動を用意する。

セレモニー

ジェンダー・エクィティを象徴するために、女性が重要な役割を担う開会式、閉会式を計画する。

14. ハラスメント政策の例

ツールの概要

このツールは、スポーツ組織がハラスメント防止政策を開発していく際に、スポーツ組織をサポートするための見本を提供する。各組織は、自分のスポーツ、組織的な構造、方針に見合った政策を適用するように促される。

いつ使うのか？

- ・ 所属する組織がハラスメント問題を自覚し、その問題への対策準備を確実にしたい時
- ・ まだ対策が作られていないときに、組織やスポーツの中で最初にハラスメントの可能性に関する噂を耳にした場合

フォーマット

ニュージーランドのヒラリーコミッションは、名前やスポーツの名前を最小限書き加えたり、適当に修正することのできる対策例を提供した。

ツール

1. 政策声明

[スポーツ組織名（ここに詳細を記入）]は、[スポーツ名]に関わるすべての人が尊重と尊厳をもって扱われ、可能性を十分に発揮し参加できる、ハラスメントのない環境作りをします。このことは、選手、コーチ、役員、[スポーツ組織名]、そして[スポーツ名]にとって利益となること（重要）です。

私たちは以下のことによってハラスメント防止に全力を尽くします：

- ・ この対策がすべての従業員、コーチ、役員、親、選手に喚起されることを保証すること
- ・ いかなる苦情に対しても、迅速に、適切に、そして公平に対処すること
- ・ ハラスメントに関する情報やアドバイスを与えられる適切な人材（ハラスメント防止対策委員）の任命と養成
- ・ 対策、手続き、実践の定期的な再考

2. 政策や手続きが適用される対象者

政策と手続きは以下の者すべてに適用される：

- ・ 選手
- ・ 管理者や役員
- ・ コーチ
- ・ 有給、無給関係なく、[スポーツ組織名記入]に雇用されている、もしくは代表している者

3. 政策や手続きが適用されること

対策や手続きは、以下に記す[スポーツ名記入]に関するすべての状況に適用される：

- ・ コーチング（指導）とトレーニング（練習）
- ・ 大会（競技会）
- ・ 遠征
- ・ 社交的なイベント
- ・ ミーティングや会議

4. 定義

- 4.1 ハラスメントとは、個人、もしくは個々の集団に向けられる侮辱的、威圧的、自尊心を傷つける、敵意のこもった、下劣で、攻撃的な望まない言葉やふるまい、ジェスチャーであり、繰り返し行われたり、ある者のパフォーマンスや貢献、スポーツ環境に悪影響を及ぼすものである。
- 4.2 ハラスメントは個人もしくは集団の人種、皮膚の色、ジェンダー(性)、身体的特徴、性的志向、障害、あるいは他の顕著な特徴が注目されるかもしれない。
- 4.3 セクシュアル・ハラスメントは、性に関わる、望まない行動すべてのことである。
- 4.4 ほとんどのケースで、ハラスメント（セクシュアル・ハラスメントを含む）は、ある人物が他者に対して不適切に権力を行使しようとするものである。ハラスメントは、ジェスチャーや言葉といった軽いものから、身体的、強制的、暴力にいたるふるまいなど、さまざまである。

5. 責任

[スポーツ組織名記入]は、組織のハラスメント防止のために正当な処置をとることと、組織の至る所に知られている対策や手続きを保証することに関して責任がある。つまり、組織の者すべてが以下のことについて理解していることを確実にするよう、正当な処置を施さなくてはならない：

- ・ ハラスメントの意味
- ・ 不法行為
- ・ 許されない（我慢できない）行為
- ・ 苦情は明確な手続きにより処理されること。それらの苦情手続きは公式・非公式な両方の仕組みでおこなわれること。

6. 法的義務

ハラスメントは差別である。セクシュアル・ハラスメントと人種的なハラスメントは多くの国々で違法である。自分の国でハラスメントに対しその組織が負う義務を確認するために法律を調べてください。

15. 少女／若い女性のプログラム設計

ツールの概要

オン・ザ・ムーブ（OTM）は、カナダの9歳から18歳の少女と女性の参加を促すために作られた、カナダの国全体の運動である。OTMにおける成功要因のトップ10は、OTMのネットワーク経験や少女と若年女性向けのプログラムに関する学術調査に基づいている。

いつ使うのか？

- ・ 少女と若年女性向けの新たなプログラムを作成しようとしている時
- ・ もし現在のプログラムが少女と若年女性のニーズに見合っていて、そのプログラムを利用したい時

フォーマット

このツールは、OTMのハンドブック、スポーツや身体活動の実践者向けの資料、少女と若年女性の身体活動の増進に関心の高い教育と、健康に関連した分野の中に含まれている。ここでは、プログラマー向けの情報として作成されており、また新たなプログラムに向けた企画や簡単な説明のためのチェックリストとして利用できる。

ツール

少女と若年女性向けのプログラム作成におけるOTM成功要因のトップ10

1. 楽しさ

- ・ 少女と女性は、身体活動が楽しく肯定的な経験であるべきだと考えている。
- ・ 適性検査ではなく、スキルやフィットネス志向型であるべきだ。
- ・ 少女と女性のフォーカスグループは、身体活動やスポーツに参加する理由の第一位に“楽しさ”を挙げている。

楽しさを計画する（プログラム化する）ヒント

- ・ すべての人への特典と誘因—証明書、Tシャツ、ポスター、集団写真、リボン、ボタン、ステッカー、チームの旗、はちまき、体育館用バッグ、会員制
- ・ チームや個人への風変わりな賞—最大の微笑み、強い握手、最も向上した人へ、最も情熱的な人へ、最も首尾一貫した人へ、ベスト問題解決者、ベスト音楽プレイヤー
- ・ パーティーテーマ・ナイト（テーマを決めたパーティ）、音楽、ダンス、ビデオ、食べ物、装い、菓子作り。有名人や地元の女性選手を招待する
- ・ スペシャル・イベント—シンポジウムや会議、カーニバル、スポーツチャレンジ、写真展示、ミニオリンピック、ボーリング、“ロード旅行”
- ・ 健康なライフスタイル—社会的相互作用と学習のために楽しいプログラム機会を売りだす。アクティブな生活、栄養摂取、身体イメージ、喫煙などに関してゲストスピーカーを用意する。

2. 身体的および社会的活動の混合

- ・ 少女と若年女性は、与えられた活動が一つ以上であることを喜ぶ。
- ・ 伝統的なスポーツ領域外の経験を提供するために、多様な活動に挑戦する。
- ・ 工作、菓子作り、ディスカッションといった社交的な活動を各セッションに計画する。
- ・ 利用する施設（例えば体育館、プール、台所、運動場、ホール）を検討し、創造的である。

- ・ 参加者に選択肢を与える。

3. プログラム企画への参加

- ・ 少女と若年女性は同質集団ではない。あるひとつの集団のある年齢には利用できることが、他の年齢や集団には利用できないかもしれない。何をしたいのか参加者に聞く。
- ・ 少女や若年女性の経験は限られている可能性があるため、できる活動についての提案が必要かもしれない。グループをがっかりさせないように選択肢を与える。

4. 少女と若年女性のみ

- ・ 調査と OTM の経験から、女性だけのプログラムが是非とも必要であるといえる。
- ・ 少女と若年女性は、身体活動に自分のやり方で参加する機会が必要である。男性の存在によってしばしば少女と若年女性の参加の仕方が変わり、したがって彼女たちが経験することも変わってきてしまう。

5. 安全で協力的な環境

- ・ 安全で協力的な環境は重要であり、以下の理由により参加率の低い少女と若年女性にとっては特に重要である：
 - スキル不足
 - 身体活動やスポーツでの良い経験の不足
 - 身体活動・スポーツへの参加に対する自信の欠如
 - 定期的な余暇時間の欠如
 - 文化的なもの、輸送機関、安全なバリアに対処しなければならないこと
 - 競争を嫌うこと
 - 自分の身体について意識すること
- ・ グループとともに尊敬や仲間性について話し合う。受け入れられる、受け入れられない行動についてのリストをブレインストーミングする。
- ・ 参加者に経験してもらうために以下の安全な環境を利用する：
 - ミスをして大丈夫である場所
 - どんな人でも受け入れられる場所
 - 自分たちをサポートし励ましてくれる人がいることを知っている場所

6. 同年齢によるグループ作り

- ・ 少女と若年女性は、仲間と一緒にいることを好み、年齢範囲を広げすぎた OTM のプログラムは多様なニーズに応えるのに苦労した。
- ・ リーダーシップになる機会や積極的なロールモデルを提供するために、ボランティアやリーダーとして若年層のプログラムに年上の人たちに参加してもらう。

7. 基本的スキルの学習

- ・ 基本指導は参加者にスキルの上達をもたらし、いろいろな活動へ参加する際に大きな自信となる。
- ・ 少女や若年女性は十分に参加でき、かつ競争のないゲームを好む。ルールや用具を変更・改造し、スコアではなく楽しさに焦点をあてるようにする。
- ・ 自信やスキルのレベルが向上すると、少女や若年女性の何人かはプログラムの競技性を増やしたくなるかもしれない

い。参加者と話し合い、参加者が何を考えているのかを探り、コミュニティの中に存在する他のスポーツや身体活動の機会を奨励する。

8. ロールモデルのリーダー

- ・ そのプログラムを引っばっていくために選ばれたリーダーの質に高い価値をおくことは重要である。
- ・ リーダーになる人は、女性で、熱心で、積極的で、元気で、寛容的である必要がある。
- ・ 適切なトレーニングでプログラム・リーダーを提供し、リーダーは、教育、自覚、積極的フィードバックというバランスを持ち、少女たちの抱える多数の問題や関心に対応できることを保証する。

9. 食べ物

- ・ 食べ物はプログラムに参加者を惹きつけるのに得策である。
- ・ 開始するイベントに食べ物を盛り込み、各セッションにはスナックを用意する。
- ・ 栄養や健康的な食事法、自尊心と身体イメージについて話をする機会を利用する。

10. 衣装や音楽の選択

- ・ 少女や若年女性はしばしば自分の身体に意識が向き、否定的な身体イメージに悩んでいる可能性がある、彼女たちに自分自身の衣装を選ばせよう。
- ・ 多くの少女や若年女性たちは体育でのまずい経験があり、体育授業を思い出したくないと思っている。
- ・ 少女や若年女性が心地よさを増していくにつれ、活動しやすい、より適した服を選び始めるだろう。
- ・ 音楽は環境を印象づけ、緊張を軽減する。

16. 少女／女性に対する新しいイニシアティブへの資金調達

ツールの概要

スポーツではしばしば 2 つの財源しかみない：政府からの補助金とスポンサー資金である。この両者から予算を持つてくるために熾烈な競争がある。女性のプログラムに支援を得ようとする場合、男性のプログラムから予算を横取りすると思われたら難しくなる。

少女と女性のために新しいプログラムを確立する際に、そのプログラムをサポートしていく新たな方法を見ることができ。その方法のほとんどが、政府や企業からの資金への依存よりも維持可能なものである。このツールは、新たなプログラムを計画する際に検討すべき他の財源リストを提供する。

いつ使うのか？

- ・ いいアイデアや実験的なプログラムがあるのに、支援金不足で前に進むことができない時
- ・ 前に動き出す際に援助を求めることができるすべての財源について考えている時

フォーマット

ツールは 2 ページあり、さまざまな財源について説明している。自分が利用すべき空欄のツールを埋めていく。

ツール

企画したプログラムに予算のつけ方を考えている時、金銭、人、施設、物品による貢献など多くの潜在的な資源がある。

以下に示す潜在的資源リストをガイドとして利用せよ：

顧客

プログラムの参加者に登録させる決定権を持っている人物。その顧客にとってプログラムの何が重要で利益となるのか？
(例えば登録費、賞金、証明書)

消費者

プログラム参加者。そのプログラムへの参加者にとってどんな要素が重要であるのか？

配布者

プログラムを伝えたり主催したりする団体、組織、施設。それらにとって利益となることは何だろうか？例えば、広告・宣伝材料、リーダーシップ人材、教師やコーチのサポート、用具の購入、入学（入会）、登録、管理支援。

供給者

プログラムを伝えるために必要なトレーニング用具、商品、器具、プロモーション用の道具を生産している企業。例えば、独占的供給の代価として調査や開発支援、独占供給の代価として必需品への融資、配送者や顧客への直接郵送、広告の代価として製品コストの削減

商品

- ・ プログラムに直接関連している商品：バッジ、シャツ、参加賞；教師やコーチへの教材；施設で使用するトレーニング用具
- ・ プログラムに関連しておらず、プログラムの参加者から寄せられる声の結果として顧客に売られるもの

共同スポンサー

同じ消費者を共有するビジネスが物品や現金を供給する

政府の補助金

援助金を含む政府もしくは政府機関の補助金

新しい取り組みに対して可能性のある援助資源を明確にしよう。

顧客

消費者

配布者

供給者

プログラムに直接関連のある商品

プログラムに直接関連のない商品

企業スポンサー（物品、現金）

政府の補助金や援助機関

その他、支援の可能性のある資源

第3章：自己開発のためのツール

17. 良き指導（メンター）のための事例づくり

ツールの概要

このツールは、公式、非公式なメンター（指導）関係の利点に関する基本的な情報を提供する。メンター（指導）関係に着手することが最初のステップであり、それをするために、個々人は“何を取り除かなければならないのか”について知る必要がある。このツールで示されているような“得策”を利用しながら自分の指導法を伝えることは、人や組織を引きつける最善策の一つである。

いつ使うのか？

- ・ 組織や個々人が、女性たちが自分の可能性に到達できるように役立つ支援、トレーニング、助言、励まし、刺激、ネットワークを彼女たちに提供したいと思っている時
- ・ 女性が新しいスキルを学んだり知識を得たりする機会や、ネットワークを結び自分のことを‘知ってもらう’機会を望んでいる時
- ・ 女性が考えや苦勞について話し合いのできる人を必要としている時
- ・ 女性が職業的に孤立していて援助やサポートを必要としている時

フォーマット

メンター（指導）プログラムの利点について概説している1ページは、オーストラリアスポーツコミッションのメンター・アズ・エニシング！（Mentor as Anything!）というプログラムを書き換えた。メンター・アズ・エニシング！はメンター（指導）プログラムを実践するためのガイドラインであり、メンター（指導）プログラムを企画しようとしている組織によって求められている活動と、メンター（指導）の関係性を築きたいと考えている個々人の課題の両方を概説している。情報をもっと必要ならば、第5章（資料）を参照しよう。

ツール

メンター（指導）プログラムを作成する際に、少なくとも2つの集団がいる：

メンター（指導者）：アドバイザー、教師、ロールモデル

メンティー（生徒）：経験の少ない学習者

メンター（指導者）にとっての利点

- ・ 自分の知識やスキルを共有する機会
- ・ 他者を手助けする充実感
- ・ 次世代のリーダーをサポートする充実感
- ・ 自身の仕事に対する新たな情熱と専心性
- ・ 自身の知識を再吟味し新しいものにするチャンス
- ・ 職業的孤立感の軽減
- ・ 自身の見方や新たな考えに対するチャレンジ

メンティー（生徒）にとっての利点

- ・ 新しいスキルの学習と新たな知識の獲得の機会
- ・ 自身のことを‘知ってもらい’ネットワークを構築する機会
- ・ キャリアの促進
- ・ 組織運営でのトレーニング
- ・ 自身の発展に向けたサポートと補強
- ・ 考えや困難を話し合える人
- ・ 自信とエンパワメント

組織にとっての利点

- ・ 高度な技能のあるスタッフとボランティア
- ・ 外部の機関によって決められた分量・目標に見合う能力
- ・ 次のリーダーのために増えたコミュニケーションとサポート
- ・ サポートネットワーク
- ・ より効果的な意思決定と熟練した個々人に伴うサービス分配
- ・ しばしばメンティー（生徒）がメンター（指導者）やよりよい人事管理者になること

成功するメンタリング（指導）のためのチャレンジ

- ・ 生徒がニーズや期待を明確にできないこと
- ・ 関わった時間と努力の程度
- ・ 地理的に離れている場合のアクセスの難しさ
- ・ メンター（指導者）の権威と‘いつも正しい’という態度
- ・ 変化、もしくは変化の受け入れができないこと
- ・ 消極的な組織文化；学習やメンタリング（指導）について支援的ではないこと

18. コーチングと役員に女性を募集・採用すること

ツールの概要

このツールは、オーストラリアスポーツコミッションによって開発されたもので、コーチングや役員の職に女性をもっと巻き込んでいくガイドとして、いくつかの戦略による4つの目標を概略している。

いつ使うのか？

- ・ 自身のスポーツ（団体）が、変革を行っていく上での優先事項として、コーチングや役員のポジションに女性が不足していることに気づいた時
- ・ リーダーシップのポジション、特にコーチングや役員というポジションにおいて、現在の（自身の）スポーツ文化が女性を引きつけていない時

フォーマット

このツールは、戦略的もしくは他の計画文書への変更が容易にできる、目的付きの計画ガイドとして作成されている。

ツール

目的：より多くの女性のコーチと役員を募集すること

戦略

- ・ コーチ、役員、選手が自身のことを名乗ることを奨励し、積極的に引退した女性選手がコーチや役員になるよう‘ヘッドハント’する
- ・ 募集の手続きが均等な機会を提供し、差別を行っていないか調査する（例えば女性の応募を奨励する言葉による宣伝；選抜委員の男女比の確認；ジェンダーに中立な質問を聞く、すなわち女性を不利にする質問ではないこと）
- ・ 募集に際して主観的な基準（精神的な強さ、決断力）よりも客観的かつ定量化可能な基準（資格、結果、過去の経験）を利用し、最終決定は仕事の必要条件に関連したものであって、応募者の性別には関係がないことを保証する
- ・ ユースのリーダーシッププログラムを引き受けている女性を明らかにし、彼女たちが指導者や役員に関わっていくよう励ましていく
- ・ コーチングや役員の仕事に積極的に報酬を与えるよう促す（自尊心や自信の向上；組織的なスキルとコミュニケーションスキルの改善；多くの満足感を与える）
- ・ コーチや役員としてのスキルや技術を高めていくために、女性を支援することをテーマとしたクリニック／ワークショップを行い、認定されるよう彼女たちを励ます。

目的：コーチや役員の立場に女性を保持すること

戦略

- ・ 女性が付加的なノウハウ（例 交渉ごとやリーダーシップのスキルなど）を身につけたいと思っている領域で養成機会を与える
- ・ コーチングと役員の仕事において有効な組織、専門職への道、そして機会を促進する
- ・ 女性コーチや役員の個人的な成功や貢献に感謝する（例 会議において、承認証の授与、ニューズレターでの紹介、メディアリリース、セミナーでの演者として）
- ・ コーチングや役員の仕事に対して非活動的になった者が、コーチや役員を辞める結果となった直面していたあらゆる障害について明らかにするために調査する

- ・ 包括的で安全な仕事環境を提供する（すなわち、個人の貢献を促し価値を認める人は、個々の差異を受け入れ、よく開かれたコミュニケーションをおこない、合理的な時間要求があり、育児サポートを提供する）
- ・ 家族、時間要求に敏感かつ柔軟である
- ・ 差別とハラスメントのない環境を保証する
- ・ ハラスメント担当役員を設け、その人物を研修させる。

目的：コーチングと役員の仕事への信任を女性が得られるよう改善すること

戦略

- ・ 育児サービス（チャイルドケア）の手配や育児費用の適切な報酬を提供する
- ・ コースのタイミング／スケジュールの適切さを考慮する
- ・ トレーニング、コーチング、役員の仕事にとっての場所が適切で安全であることを考慮する（例：内部と外部の照明が十分である、公的輸送機関が利用しやすい）
- ・ エクィティ（公平性）に関して、すべての人に適した教材と資料を考慮する（ジェンダーに中立な言葉の使用；積極的な役割の中に両性を映した写真や絵など）
- ・ コースの発表者が女性に対して感受性があり適切であることを保証する（例：彼／女らは適切な言語や用語を用いているか、積極的にコーチング／役員の立場にいる女性をサポートし言及しているか、両性の例、統計、イメージを用いているか）
- ・ 女性だけのコースを設けることに考慮する。

目的：女性のコーチと役員の地位を向上すること

戦略

- ・ 女性コーチと役員のために指導、もしくは研修制度を提供する
- ・ 上級レベルのコーチング・役員教育に女性を候補者に任命する
- ・ コーチング委員会、役員会で女性に意思決定の役を奨励し、もし必要ならばその役割を女性が担うよう仕向ける。
- ・ 戦略的に組織計画を保証し、女性のコーチと役員を啓発するために財政的・人的資源を提供する
- ・ 可能な場所であるならばどこにおいても、女性が上級のコーチや役員のポジションにつけるよう奨励する（才能のある男性と女性を含む選択要員を確保する）
- ・ 立派な地位につき、ロールモデルとしてよい結果をおさめた女性を昇進させる
- ・ 同じような仕事を行う女性と男性のコーチの給与を公平にすることを保証する
- ・ 賞に女性コーチと女性役員を推薦する。

第4章：行動に向けてのツール

19. ‘変革をする’ 行動計画

2002年世界女性スポーツ会議の最後のワークショップ（5月18日土曜、3:30-5:00pm）には、フォローアップアクションについて議論するために、似たような状況や関係性をかかえた参加者が集まった。すなわち、自国に戻ってからどのように変革を起こすのかについてである。

そのようなグループで、参加者は以下の順番でおこなう：

1. 自己紹介
 - ・ 名前
 - ・ 出身
 - ・ 自国での女性とスポーツにおける役割
 - ・ 女性とスポーツにとって積極的な変革をもたらす、直面している大きな課題
2. おこなった変革の戦略について話し合う。できることについてアイデアを出し合う。
3. 成し遂げたいことについて考える；自分の計画についての以下の質問を考える。
4. 次のページ（ブランクのあるページ）に自分の回答を記録する。

変革のために自分の優先事項は何か？	一度にすべてをおこなう時間や資源は持っていないので、変革のための優先事項、もしくは変革するために最も重要なことを明らかにすることが必要である。次ページの最初のコラムに自分の優先事項をリストアップせよ。
どんな変革を実現したいのか？	各優先事項のうち、特に達成したい結果を明確にする、自分の行動の結果と何が異なるのか？など。
この変革を達成するためには何をしなければならないのか？	自分が望んでいる結果を達成するためにやらなければならない具体的な行動を明確にする。
いつその行動は完了しなければならないのか？	望んでいる成果を得るために目標の日程を明確にせよ。各行動が完了する日もあわせて明確にせよ。
この結果を達成するのに誰が支援してくれるか？	望んでいる成果を得るために支援してくれる組織の内部外部両方にいる個人もしくはグループを明確にせよ。
自分はどのようにしているか？	望ましい成果を得ることに関連した成功を記録せよ。進展するにつれ、望ましい結果に到達する助けとして、いくらかの行動や日程、支援してくれる人びとを代える必要があるかもしれない。
成功したことをどのように知ることができるか？	自分が欲していたことを達成した時にそれを知る指標を明確にせよ。

私のアクションプラン

変革のために自分の優先事項は何か？	
どんな変革を実現したいのか？	
この変革を達成するためには何をしなければならないのか？	
いつそのアクションは完了しなければならないのか？	
この結果を達成するのに誰が支援してくれるか？	
自分はどのようにしているか？	
成功したことをどのように知ることができるか？	

20. 成功の評価

ツールの概要

成果測定や評価は、望んだ成果（どんな変革が誰に）、成果の指標（この成果を達成したことをどのように知るか）、そしてそれをどのように評価することができるかを明確にするために重要なツールとなる。このツールは、ツール 9 のジェンダー・エクイティ政策の目標を利用しながら、成果の測定と戦略例を理解するために背景となる情報を与える。

いつ使うのか？

- ・ プログラム、方針（政策）、主導権がスポーツに関わる少女や女性に〈今までとは違う〉差異〈変化〉をもたらしているか否かを知りたい時
- ・ 進展度を図りたい時、うまくいっていないことを知りたい時、うまくいっていることを称賛したい時
- ・ 自分の主導権が時間や資源の投資に値することを自分自身や他人に証明したい時

フォーマット

主要な背景となる情報に従いながら、このツールは成果を測定するために 3 つのステップを提供する。また、その例として、女性リーダーの数を増やすための目標を用いる。

ツール

成果測定とは何か？

‘成果測定’とは、あなたが発展していくことができる評価についての新たな考え方である：

- ・ どんな差異を築こうとしているのかを描くロードマップ（行程表）であり、それに沿って見ることを期待している道路標識である。
- ・ そのような道路標識がどのようなものであるかを描いた一連の成果指標であり、自分がそこまでたどり着いたことがわかるものである。
- ・ そのような指標に関する情報を集めるための戦略である（この情報がどこからきたものなのか、どのように集められたのか、誰がどのような頻度で集めるべきなのか）。

成果測定戦略は、いつでも開発することが可能である。最も良い時期は、いつ明らかにしたいのか、どんな差異を築こうとしているのか（戦略的な方向性と目標）の計画段階であり（ツール 10 参照）、そこでどんなニーズが実行されるべきかを決める時である（操作的な計画づくり：活動内容、課題、期限、責任、資源）。戦略的な方向性と目標から運営計画作りへ直接向かうことは、何をおこなったかを評価するにとどまり、どんな差異を築いたかを評価するには至らない。もし、どんな差異を築こうとしているのかを考慮するならば、自分たちが行く方向に沿って小さなステップと進展を評価することである。

自分のロードマップや実行論理についての簡単な方法は、成果測定⁶に対する 3R 方法として知られている：

- ・ 得たい“結果(Result)”は何か（なぜ、何を）？
- ・ 誰に“届け(Reach)”ようとしているのか（誰）？
- ・ どんな“資源(Resources)”が必要か（どのように）？

⁶ Montague, Steve (1997). The Three R's of Performance. Performance Management Inc., Ottawa, Ontario.

成功を明らかにする

変革が実行される前に、何かが実行される必要があるという共通認識を得ながら、またリーダーや仲間からの参加を得ながら、その問題への気づきが高まるためには莫大な時間、エネルギー、資源がかかるかもしれない。早い段階で成功とみなすものは、その後成功だと思われるものとは非常に異なっているかもしれない。

例えば、ジェンダー・エクィティ政策を採用するにあたり、早期の成功には主となる意思決定者からの形式的なサポートや政策を発展させていくための資源を含んでいるかもしれない。一年目は、気づきやサポートの獲得に関して成功が評価されるだろう；二年目は、実行の程度によって；そして三年目になってようやく、それが差異をもたらしているのかどうか成功を評価することができる。

女性役員を増員するための成果測定戦略の例

ステップ1：得たい結果の決定

オーストラリアスポーツコミッションのナショナル・ジェンダー・エクィティ政策（ツール9）を用いながら、目標の一つは：女性のコーチ、インストラクター、意思決定者、役員、理事の人数をすべてのレベルでも増やすこと。

もしこの段階で、行動計画作りに直接向かうのであれば、達成しようとしていることと、そこへどうやってたどり着くのかに大きなギャップを作ってしまうだろう。方法を理解し、仕事の計画を作る前に、‘何を、誰が、いつ’についての詳細を明確にしておくことが必要である。内的なニーズの評価に基づいて考えよう、この目的の最初の優先事項は女性の役員である。したがって、ここでは女性の役員の数を増やすためのロードマップはどのようなものなのかについてである。

得たい結果（何、誰、いつ）：2004年までに役員プログラムのあらゆるレベルで女性役員を増員する

得たい結果を明らかにするとともに、それに沿って成功や進歩を示す印を明らかにする必要がある。したがって、計画作りのグループとともにもう少しディスカッションした後に、ロードマップがどのようなものであるかを示す。

早期の成功

- ・ 主要な意思決定者（役員や委員会）による、女性役員が組織にほとんどいない状況は言及する必要性のある問題であるという気づき
- ・ 女性役員の不足を言及しはじめるために役員と委員会のサポート
- ・ 女性役員の欠如とその理由について、役員、仲間、委員たちの気づきの高まり
- ・ 女性役員を増員に重要となる役員の正式な参加

継続的成功

- ・ 役員クラスに女性選手がたくさん入っていること
- ・ メジャートーナメントで地域もしくは州の女性役員が経験を得る機会が増えること
- ・ メジャートーナメントで地域もしくは州の女性役員による参加が高まること
- ・ 男性選手がいかなるレベルにおいても役員としての女性を受け入れるようになる

望まれる成功

- ・ 業務をつかさどる環境が女性役員にとって協力的であると感じられること
- ・ より多くの初心者である女性役員が積極的であり続けること
- ・ より多くの地域の女性役員がより高い州レベルで認められること
- ・ より多くの州の女性役員がナショナルレベルの役員になること

今や何を達成したいのかについてのロードマップを持ったのだから、成果指標、すなわち自分たちが成功したかがわかる尺度を作り始めることができる。

ステップ2：成果指標を明らかにする

成果指標は望ましい結果を描く。それらは質的・量的情報の両方をとらえることができる。女性役員の増員のための成果指標の例を以下に示す：

望ましい成果（何）	成果指標
顕著に女性役員を増加するという理事会による公約（一年目まで）	年次総会でその動きを支援した理事の数もしくはパーセンテージ
メジャートーナメントでの地域や州の女性役員参加の増加（二年目まで）	シニアとジュニアの全国大会で審査員をした地域・州の女性役員の、一年目、二年目、三年目における推移
より多くの州レベルの女性役員が、ナショナルレベルの役員になること（三年目まで）	一年目から三年目までにおいて、州レベルの女性役員がナショナルレベルの役員になる人数の推移

良い成果指標は正確で、評価可能で、集計可能であることだ。時々、一つ以上の指標を持つかもしれないが、3つ以上持つというのはまれである。もし3つ以上持つならば、自分のロードマップに一つ以上の望まれる結果があるであろう。その場合、もう少し分類し、そうすることでより正確な結果をあげることだろう。

ステップ3：収集戦略の開発

成果と実行指標がいったん決まれば、次に情報収集の戦略を開発することができる。これは次のようなことを明らかにすることを必要とする：

- ・ どこから情報を得るのか：ファイル、フォーム、データベース、人、他の資源？
- ・ どのように情報を得るのか：ファイルを調べる、データベースを分析する、人へのインタビューもしくは調査をする？
- ・ 誰がこの情報を収集すべきか：自分、連盟、地域レベルの誰か？
- ・ どのような頻度で集めるべきか：1回、6ヵ月後と、一年に1回？

よい成果評価法は、主となる結果と指標をとらえることであり、自分が重要であると考えるものだけを評価することである。

自分のプログラムの成功を評価する際に、どんな差異を自分は作ろうとしているのか、より高いレベルの結果にどのくらい貢献しているのかを示すロードマップと、スポーツに関わる少女と女性に対して差異を設ける際に、自分の成功を実証する三年分のデータをあなたは持っているということである。

セクション E: 資料

註: 以下の資料のリストは全てを含めたものではありません。共有すべきだと考える追加資料を IWG へ提出して下さい。このツールキットの内容が掲載された IWG のウェブサイトは以下のアドレスです。

www.iwg-gti.org

以下は英語のみでの紹介となりますのでご了承下さい。

1. 役に立つウェブサイト

Active Australia www.activeaustralia.org

Active Australia is a Federal Government initiative managed by the Sport Development Group at the Australian Sports Commission. They have many excellent resources on women and sport, including the Active Women policy included as part of Tool #9, A National Gender Equity Policy.

Contact: PO Box 176 Belconnen ACT 2616

Telephone: 02 6214 1111

Facsimile: 02 6251 2680

Canadian Association for the Advancement of Women and Sport and Physical Activity www.caaws.ca/

CAAWS is in business to encourage girls and women to get out of the bleachers, off the sidelines, and onto the fields and rinks, into the pools, locker rooms and board rooms of Canada (site also available in French).

Contact: N202 - 801 King Edward Avenue, Ottawa, ON, Canada, K1N 6N5

Phone: 613-562-5667

Fax: 613-562-5668

Email: caaws@caaws.ca

Canadian Health Network www.canadian-health-network.ca

Welcome to the Canadian Health Network (CHN). Through this single 'doorway' of CHN, you will find multiple sources of credible, practical health information, all easily accessible through a variety of search options (information aussi disponible en français).

European Women and Sport www.EWS-online.com

It is the longest established regional women and sport grouping and has been working through a whole range of European networks.

Contact: EWS Secretariat 2002-2004, C.N.O.S.F. – Maison du Sport Français 1 avenue Pierre de Coubertin 75640

Paris Cedex 13 - France

Phone +33 (0) 1 40 78 29 28

Fax +33 (0) 1 40 78 28 34

Email: fraises@ews-online

Expect the best from a girl www.academic.org

Contact: WOMEN'S COLLEGE COALITION, 125 Michigan Avenue, NE, Washington, DC 20017

Phone: +1 202-234-0443

Fax: +1 202-234-0445

Email: msm@trinitydc.edu

Feminist Majority Foundation www.feminist.org/gateway/sp_exec2.html

The Feminist Majority Foundation (FMF), which was founded in 1987, is a cutting edge organization dedicated to women's equality, reproductive health, and non-violence.

Contact: 1600 Wilson Boulevard, Suite 801, Arlington, VA 22209,

Phone ☐ +1 703-522-2214

Fax ☐ 703-522-2219

Email: femmaj@feminist.org

Gender Equity in Sport <http://bailiwick.lib.uiowa.edu/ge/>

Info on gender equity related topics.

Girls Athletics www.girlathletics.com/

Everything a young woman wishes to know about sports and sports related issues.

Harassment and Abuse Prevention in Sport www.harassmentinsport.com

Developed a user-friendly handbook on harassment specific to the needs of the sport community. People from within the sport community, who understood the unique norms and culture of sport, developed the handbook.

Contact: info@harassmentinsport.com

Hillary Commission www.hillarysport.org.nz/

The Hillary Commission for Sport Fitness and Leisure has been set up by the Government to develop sport and physical activity so that more people can be involved, enjoy an active lifestyle and develop their skills - perhaps even become champions.

Contact: Hillary Commission, PO. Box 2251, Wellington

Phone: +64 4 472 8058, Fax: +64 4 471 0813, Email: sitemail@hillarysport.org.nz

International Association of Physical Education and Sports for Girls and Women www.smith.edu/collegerelations/athconf/

IAPESGW supports its members working for women's and girls' sport and physical education, and provides opportunities for professional development and international cooperation.

International Olympic Committee (IOC) www.olympic.org

The IOC site includes information on the Olympic movement as well as past and upcoming Games.

Contact: 1, Quai d'Ouchy, CH.1001, Lausanne, Switzerland

International Working Group on Women and Sport (IWG) www.iwg-gti.org/

The IWG is an informal, co-ordinating body consisting of government and key non-government organizations with the over-arching objectives of promoting and facilitating the development of opportunities for girls and women in sport and physical activity throughout the world (information aussi disponible en français et espagnol).

Contact: IWG Secretariat, P.O. Box 1111-HHD, Tokyo-Chiyoda Central Station, Tokyo 100-8612 Japan.

Phone: +81-3-5446-8983; Fax: +81-3-5446-8942; E-mail: iwg@jws.or.jp)

Japanese Association for Women in Sport www.jws.or.jp/

Melpomene Institute for Women www.melpomene.org/

Helps girls and women of all ages link physical activity and health through research, publication and education.

Contact: 1010 University Avenue, St. Paul, MN 55104

Phone: +1 651-642-1951, Fax: +1 651-642-1871, Email: health@melpomene.org

Olympic Women <http://www.olympicwomen.co.uk/>

This site is dedicated to women sporting pioneers, many of whom are Olympians.

Contact: Email stephanita@olympicwomen.co.uk

Promotion Plus www.promotionplus.org

Ensure that all girls and women in physical activity and sport in the province of British Columbia have access to a complete range of choices and opportunities; have equity as participants, competitors and leaders; and become fully participatory and actualise their potential.

Contact: 305 - 1367 WEST BROADWAY, VANCOUVER, B.C. CANADA, V6H 4A9

Phone +1 604 737 3075, Fax +1 604v 738 7175, Email: promoplus@mindlink.bc.ca

The 2002 Gay Games www.sydney2002.org.au

Aim for celebration of lesbian visibility in sport. The Games in Australia are aiming for 50% participation from women.

Contact: Sydney 2002 Gay Games Ltd, GPO Box 2763, Sydney NSW 2001, Australia

UNESCO www.unesco.org

UNESCO, United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization is to contribute to peace and security in the world by promoting collaboration among nations through education, science, culture and communication in order to further universal respect for justice, for the rule of law and for the human rights and fundamental freedoms which are affirmed for the peoples of the world, without distinction of race, sex, language or religion, by the Charter of the United Nations.

Contact: UNESCO, 7, place de Fontenoy, 75352 PARIS 07 SP, France

Tel. national: 01 45 68 10 00, international: +33 1 45 68 10 00

Fax national: 01 45 67 16 90, international: +33 1 45 67 16 90

Women and Sport in Mediterranean Countries <http://membres.lycos.fr/fscm/>

The Association of Women, Sport and Culture in the Mediterranean homepage.

Women's Health Matters <http://www.womenshealthmatters.ca>

A reliable source of health information for Canadian women. This site is a joint project of the Sunnybrook and Women's Health Sciences Centre and the Centre for Research in Women's Health (information aussi disponible en français).

Women In: <http://www.womenin.com/>

A monthly newsletter about women in the World. This month they feature Sports and CAAWS is included. Have a look.

Women in Sport Career Foundation www.wiscfoundation.org/

To provide women and girls professional guidance, education, and support to pursue and manage sports related careers.

Womens Sport Foundation –UK www.wsf.org.uk

Committed to improving and promoting opportunities for women and girls in sport at every level.

Contact: 305-315 Hither Green Lane, Lewisham, London, SE13 6TJ

Tel/fax: +44 20 8697 5370, Email: info@wsf.u-net.com

Women's Sports Foundation – USA www.womenssportsfoundation.org

A charitable educational organization dedicated to increasing the participation of girls and women in sports and fitness and creating an educated public that supports gender equity in sport.

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: 1-800-227-3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wsport@aol.com

WomenSport International www.de.psu.edu/wsi/index.htm

WSI is an international organization dedicated to advancing sport and physical activity for women and girls.

Women's Sports Page <http://fiat.gslis.utexas.edu/~lewisa/womsprt.html>

An index of links to women's and girls' sports pages around the WWW.

Women's Sports Wire www.womensportswire.com/wire.html

Resource for Women's Sports News and Information

Contact: Women's Sports Services Office - +1 714 848 1201, Women's Sports Services Fax - +1 714 848 5111

www.sportswork.com an online employment resource for employers within the sporting, exercise, fitness and recreational industries. We offer unlimited job postings for employers at NO CHARGE!

2. プログラム

Action Sport Community Programme, Newham, U.K.

To provide opportunities for minority women to increase their activity levels within the community.

Contact: Jean Wright, London Borough of Newham, c/o Women's Sports Foundation, London Women's Centre, Wesley House, 4 Wild Court, London WC2B 5AU, United Kingdom,

Internet: www.wsf.org.uk

Adult Education Institute

To provide innovative programmes to college/university women in the area of sport and recreation through existing college/university structures.

Contact: Jenny Thomas, Head of Physical, Education Department, Morley College, c/o Women's Sports Foundation, London Women's Centre, Wesley House, 4 Wild Court, London WC2B 5AU, United Kingdom,

Internet: www.wsf.org.uk

A Health Information Booklet Sports Practice and Diabetes

To create awareness in girls of diabetes and benefits of sport participation.

Contact: Dr. Nabilah Ahmed Abdelrahman, Dean-Faculty of Physical, Education for Girls, 55 Moustafa Kamel Street, Fleming Alexandria, Egypt,

Phone: +20 3 546 5171

Career Opportunities for Girls and Women in Sport and Physical Education

To educate females that there are many career opportunities from which they can choose and prosper for self-fulfilment, service to one's nation and the world at large.

Contact: Dr. F.B. Adeyanju, Dept. of Physical and Health Education, Ahmadu Bello University, Zaria, Nigeria,

Email: fbola@abu.edu.ng

Coaching Female Athletes

To provide advice and development of policy concerning issues impacting women in sport.

Contact: Australian Sports Commission, National Programmes-Women, P.O. Box 176, Belconnen, ACT 2616 Australia, **Email:**

Debbie.Simms@ausport.gov.au,

Internet: www.ausport.gov.au/partic/wsresour.html

Israel's Unit for the Advancement of Women in Sport

To encourage talented young athletes to reach national and international levels of competition.

Contact: Shlomit Toor, Manager, Unit for Women in Sport, Sport Authority of Israel, Wingate Institute, 22 Zamenhof

Street, Hertzelia B 46592 Israel, **Phone:** +972 9 863 9541

Media Guide for Athletes and Coaches

To provide practical tips and checklists for coaches and athletes to make the most of their media opportunities.

Contact: Promotion Plus, 305-1367 West Broadway, Vancouver, British Columbia V6H 4A9, Canada,

Email: promoplus@mindlink.bc.ca,

Internet: www.promotionplus.org

Mentor as Anything!

To help individuals and organisations provide women with the support, training, advice, encouragement, networks and inspiration that would assist them in achieving their goals and potential.

Contact: Available for the Australian Sports Commission

PO Box 176 Belconnen ACT 2616 Australia Phone: (02) 6214 1915 Fax: (02) 6214 1995

Email pubs@ausport.gov.au

On the Move A Handbook

To provide experience to encourage non-active teenage girls and women to participate in fun-filled, supportive, recreational physical activities.

Contact: Promotion Plus, 305-1367 West Broadway, Vancouver, British Columbia V6H 4A9, Canada,

Email: promoplus@mindlink.bc.ca,

Internet: www.promotionplus.org

Promotion Plus Resource Kits

To provide documents that can be easily used by those in sport leadership positions.

Contact: Promotion Plus, 305-1367 West Broadway, Vancouver, British Columbia V6H 4A9, Canada

Email: promoplus@mindlink.bc.ca,

Internet: www.promotionplus.org

Sport for All Women in Sport Project

To promote health and fitness in women and to give quality to their lives.

Contact: Ionnis Economou, Director General for Sport, 25 Panepistimiou Street, Athens 101 10 Greece

Phone: +30 1 325 1760

Sport Solution

A joint project of Athletes Can, the Sports Law Centre, and the Dispute Resolution Centre. Athletes Can is pleased to announce that the services of The Sport Solution are now being offered to provincial athletes. The Sport Solution is now available to assist your athletes, free of charge, in resolving any disputes that may arise during their athletic careers.

Contact: Toll-free: (888) 434-8883

Email sportsolution@lawlab.law.uwo.ca

Strategies for Change: Creating New Opportunities for Girls in Sport

To encourage teenage girls to become more actively involved in sport and physical activity.

Contact: Active Girls Campaign, Programme Co-ordinator, National Programmes-Women, P.O. Box 176, Belconnen, ACT 2616 Australia,

Email: Debbie.Simms@ausport.gov.au,

Internet: www.ausport.gov.au/partic/wsresour.html

The Old Aged Administration

To promote their participation in sports.

Contact: Laila El Shahat, Sport Specialist, The Supreme Council of Youth and Sports, 26th July Street, Sphinx Square, Meet Okba, Cairo Egypt, Phone: +202 346 4138

Winning Women Women and Girls in Sport

To improve the position, image and profile of women and girls in sport.

Contact: Trish McKelvey, Manager Sport Development, Hillary Commission, Level 9, Investment House, Featherston & Balance Streets, P.O. Box 2251, Wellington New Zealand,

Email: trishm@hillarysport.org.nz,

Internet: www.hillarysport.org.nz

Working with Islamic Women and Girls in Sport A Guide

To dispel myths about perceived constraints of Islam and women's sport participation

Contact: Prof. Dr. Margaret Talbot, President IAPESGW, Leeds Metropolitan University, Beckett Park, Leeds LS6 3QS, United Kingdom,

Email: M.Talbot@ccpr.org.uk,

Internet: www.udel.edu/physed/bkelly/iapesgw.html

3. 成文化された資料

[A. Body Image](#)

[D. Harassment and Sexual Abuse](#)

[G. Teaching and Coaching](#)

[B. Gender Equity](#)

[E. Parents and Sports](#)

[H. Teen Athlete and Sport](#)

[C. Gender, Sexism and Sexuality](#)

[F. Taking action](#)

[I. Women in Sport](#)

A. Body Image

Adolescent Women, Tobacco and Physical Activity

An in-depth exploration of the links between dropping out of physical activity and taking up smoking. Shows coaches, physical activity leaders, youth workers, teachers, and parents how addressing both behaviours can improve the life circumstances of adolescent women. (English and Français) www.caaws.ca

Contact: CAAWS, N202 - 801 King Edward Avenue, Ottawa, ON, Canada, K1N 6N5

Phone: +1 613 562 5667, Fax: +1 613 562 5668, Email: caaws@caaws.ca

Body Outlaws: Young Women Write About Body Image and Identity

Ophelia Edut

www.chapters.indigo.ca; Phone: 1 800 832 7569

Eating Disorders in Sport: Practical Tips and Strategies

A helpful pamphlet for parents, coaches, sport organizations and fitness leaders. (English and Français) www.caaws.ca

Contact: CAAWS, N202 - 801 King Edward Avenue, Ottawa, ON, Canada, K1N 6N5

Phone: +1 613-562-5667, Fax: +1 613 562-5668, Email: caaws@caaws.ca

Self-Esteem, Sport and Physical Activity

A common sense guide to enhancing self-esteem in children and adolescent women. Of special interest to parents, teachers, coaches, leaders and sport and active living organizations. (English and Français) www.caaws.ca

Contact: CAAWS, N202 - 801 King Edward Avenue, Ottawa, ON, Canada, K1N 6N5

Phone: +1 613 562 5667, Fax: +1 613 562 5668, Email: caaws@caaws.ca

The Body Image Trap: Understanding & Rejecting Body Image Myths

Marion Crook

www.chapters.indigo.ca; Phone: +1 800 832 7569

The Health Benefits of Physical Activity for Girls and Women

Colleen Reid, Lesley Dyck, Heather McKay and Wendy Frisby

www.bccewh.bc.ca/pub.htm

Contact: British Columbia Centre of Excellence for Women's Health

E311-4500 Oak Street, Vancouver, BC, V6H 3N1

Phone: +1 604 875 2633 Fax: +1 604 875 3716, Email: bccewh@cw.bc.ca

The Female Athlete Triad

www.wsf.org.uk/publications.htm

Contact: 305-315 Hither Green Lane, Lewisham, London, SE13 6TJ

Tel/fax: +44 20 8697 5370, Email: info@wsf.u-net.com

[Back to top](#)

B Gender Equity

An Introduction to the Law, Sport and Gender Equity in Canada

An essential guide to understanding the legal obligations of gender equity in sport. Numerous case studies to illustrate legal principles and their implications for sport organizations. (English and Francais) www.caaws.ca

Contact: CAAWS, N202 - 801 King Edward Avenue, Ottawa, ON, Canada, K1N 6N5

Phone: +1 613 562 5667, Fax: +1 613 562 5668, Email: caaws@caaws.ca

Creating Gender Neutral Coaches Employment and Compensation – expert packets

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/experts/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

Games Analysis

Offers data on the participation rates of Canadian athletes, coaches and leaders at recent major international Games. Offers suggestions to reverse imbalances and achieve positive change for women. (English and Français) www.caaws.ca

Contact: CAAWS, N202 - 801 King Edward Avenue, Ottawa, ON, Canada, K1N 6N5

Phone: +1 613 562 5667, Fax: +1 613 562 5668, Email: caaws@caaws.ca

Fair Play: Current Facts on Women's Sports

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/equity/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

From 'Fair Sex' to Feminism: Sport and the Socialization of Women in the Industrial and Post-Industrial Eras

J.A. Magnan and Roberta A. Park (English)

www.amazon.com/

Contact: P.O. Box 81226, Seattle, Washington 98108-1226, Email: orders@amazon.com

Making An Informed Decision About Girls' Participation on Boys' Teams

Should girls sign up for boys' teams? This handbook addresses this complex question and is a tool for informing leaders about the options involved in making a sound decision related to girls' participation on boys' teams. www.caaws.ca

Contact: CAAWS, N202 - 801 King Edward Avenue, Ottawa, ON, Canada, K1N 6N5

Phone: +1 613 562 5667, Fax: +1 613 562 5668, Email: caaws@caaws.ca

Out of the Picture: Gender Bias & Children's Perceptions of the Proposed Pictograms for the 1996 Olympic Games

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/res/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

Single Sex Sport and Leisure Provision

www.wsf.org.uk/publications.htm

Contact: 305-315 Hither Green Lane, Lewisham, London, SE13 6TJ

Tel/fax: +44 20 8697 5370, Email: info@wsf.u-net.com

Sport and Gender in Canada

Philip White and Kevin Young

Research on how sport is 'gendered' represents one of the fastest areas of growth in sport studies in the last few decades. Canadian scholars from a number of fields, including sociology, kinesiology/physical education, women's studies, men's studies, cultural studies, and gay studies, are brought together in this collection to examine a wide range of gender related issues, all of which contribute to a larger body of knowledge about how gender operates as a key factor in the way sport is played, organized, and funded. (English)

www.amazon.com/

Contact: P.O. Box 81226, Seattle, Washington 98108-1226, Email: orders@amazon.com

Title IX: An Educational Resource Kit – expert packets

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/experts/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

Title IX Media Helper

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/ed/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

The Women's Sports Foundation Gender Equity Report Card: A Survey of Athletic Opportunity in American Higher Education

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/res/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

The Women's Sports Foundation Report on Title IX, Athletics and the Office for Civil Rights: An Examination of Letters of Findings Issued by the Office for Civil Rights in the Post-Civil Rights Restoration Act Era

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/res/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

Towards Gender Equity for Women in Sport: A Handbook for Sport Organizations

Focusing on the importance of gender equity in sport, the Handbook outlines the goals of an ideal gender-equity organization and highlights practical ways to achieve these goals. (English and Français) www.caaws.ca

Contact: CAAWS, N202 - 801 King Edward Avenue, Ottawa, ON, Canada, K1N 6N5

Phone: +1 613 562 5667, Fax: +1 613 562 5668, Email: caaws@caaws.ca

[Back to top](#)

C. Gender, Sexism and Sexuality

Coming on Strong: Gender and Sexuality in Twentieth-Century Women's Sport

Susan K. Cahn

www.barnesandnoble.com/

Consuming Identities: Young Women, Eating Disorders and the Media

Marie L. Hoskins and Kristy Dellebuur

www.bccewh.bc.ca/pub.htm

Contact: British Columbia Centre of Excellence for Women's Health

E311-4500 Oak Street, Vancouver, BC, V6H 3N1

Phone: +1 604 875 2633 Fax: +1 604 875 3716, Email: bccewh@cw.bc.ca

Documenting Visibility: Selected Bibliography on Lesbian and Bisexual Women's Health

Jaquelyne Luce with Janet Neely, Teresa Lee and Ann Pederson

Free download at www.bccewh.bc.ca/pub.htm

Contact: British Columbia Centre of Excellence for Women's Health
E311-4500 Oak Street, Vancouver, BC, V6H 3N1
Phone: +1 604 875 2633 Fax: +1 604 875 3716, Email: bccewh@cw.bc.ca

Eliminating Homophobia: Resources for Use in Women's Sports and Fitness – expert packets

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/experts/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554
Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

Out of Bounds: Women, Sport and Sexuality

Helen Lenskyj
www.amazon.com/

Contact: P.O. Box 81226, Seattle, Washington 98108-1226, Email: orders@amazon.com

Sex/Gender Verification in International Sports – expert packets

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/experts/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554
Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

Strong Women, Deep Closets: Lesbians and Homophobia in Sport

Pat Griffin
www.amazon.com/

Contact: P.O. Box 81226, Seattle, Washington 98108-1226, Email: orders@amazon.com.

The Stronger Women Get, the More Men Love Football: Sexism and the American Culture of Sports

Mariah Burton Nelson
www.barnesandnoble.com/

[Back to top](#)

D. Harassment and Sexual Abuse

Sexual Abuse in Sport - Recognition and Prevention

www.wsf.org.uk/publications.htm

Contact: 305-315 Hither Green Lane, Lewisham, London, SE13 6TJ
Tel/fax: +44 20 8697 5370, Email: info@wsf.u-net.com

Prevention of Sexual Harassment in Athletic Settings – expert packets

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/experts/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

E. Parents and Sports

Parents' Guide to Girls' Sports (6th Edition)

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/guides/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

Wilson Report: Moms, Dads, Daughters and Sports

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/res/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

[Back to top](#)

F. Taking action

Community Action Program Introduction Booklet

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/ed/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

NGWSD Community Action Kit

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/ed/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

Women, Sport and Physical Activity Sharing Good Practice

This handbook was created to showcase the multidimensional possibilities already created and being used to enhance the lives of women and men throughout the world. Policies, projects, and programmes have been selected that represent a wide range of creative thinking and implementation throughout the world.

Contact: ICSSPE/CIPESS, Am Kleinen Wannsee 6, 14109 Berlin, Germany, Fax: +49 30 805 6386

Email: icsspe@icsspe.org, www.icsspe.org

G. Teaching and Coaching

Girls and Boys in Elementary Physical Education: Issues and Action (CAHPERD) Disponible en français également.

<https://nt5.magma.ca/cahperd/index1.htm>

Contact: CAHPERD, 403-2197 Riverside Drive, Ottawa, Ontario K1H 7X3 Canada

Phone: 1 800 663 8708 x221 or +1 613 523-1348 x221, Fax: +1 613 523-1206

Email: bookstore@cahperd.ca or info@cahperd.ca

Girls in Action... (CAHPERD) English / Français

It provides discussion tools to help teachers and girls approach the issues that impede or discourage them from participating in physical education.

<https://nt5.magma.ca/cahperd/index1.htm>

Contact: CAHPERD, 403-2197 Riverside Drive, Ottawa, Ontario K1H 7X3 Canada

Tel.: 1 800 663 8708 x221 or +1 613 523-1348 x221, Fax: +1 613 523-1206

Email: bookstore@cahperd.ca or info@cahperd.ca

Gender Equity in Coaching (Coaching Association of Canada) English / Français

<http://www.coach.ca/women/e/resources/books.htm>

Contact: Coaching Association of Canada, Women in Coaching Program

Phone: +1 613 235 5000, Fax: +1 613 235 9500

Email: cflett@coach.ca

Gender Equity Through Physical Education (CAHPERD) English / Français

<https://nt5.magma.ca/cahperd/index1.htm>

Contact: CAHPERD, 403-2197 Riverside Drive, Ottawa, Ontario K1H 7X3 Canada

Phone: +1 800 663 8708 x221 or +1 613 523 1348 x221, Fax: +1 613 523-1206

Email: bookstore@cahperd.ca or info@cahperd.ca

Physical Education: A Positive Place to Learn - Tips for Teachers (CAHPERD)

<https://nt5.magma.ca/cahperd/index1.htm> English / Français

Contact: CAHPERD, 403-2197 Riverside Drive, Ottawa, Ontario K1H 7X3 Canada

Phone: +1 800 663 8708 x221 or +1 613 523 1348 x221, Fax: +1 613 523-1206

Email: bookstore@cahperd.ca or info@cahperd.ca

Syllabus Guide for Teachers and Lecturers (2001)

www.wsf.org.uk/publications.htm

Contact: 305-315 Hither Green Lane, Lewisham, London, SE13 6TJ

Tel/fax: +44 20 8697 5370, Email: info@wsf.u-net.com

[Back to top](#)

H. Teen Athlete and Sport

The Women's Sports Foundation Report: Health Risks and the Teen Athlete

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/res/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

The Women's Sports Foundation Report: Sport and Teen Pregnancy

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/res/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

I. Women in Sport

Active Women as Consumers – expert packets

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/experts/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

An Inside Edge: Training Essentials for Young Women in Sports and Fitness

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/guides/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

Careers – expert packets

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/experts/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

Careers in Sports and Recreation for Women and Girls (1997)

www.wsf.org.uk/publications.htm

Contact: 305-315 Hither Green Lane, Lewisham, London, SE13 6TJ

Tel/fax: +44 20 8697 5370, Email: info@wsf.u-net.com

Funding Women's Sports – expert packets

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/experts/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

Girls and Women in Sport High School Curriculum – expert packets

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/experts/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

Girls & Sports: The Winning Combination - Video

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/videos/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

Girls & Women in Sports - Video

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/videos/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

[Back to top](#)

Go Get Fit: A Woman's Guide to Finding the Right Sport

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/guides/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

Honoring the Legacy: Fifty Years of the International Association of Physical Education and Sport for Girls and Women

M. Ann Hall and Gertrud Pfister (English)

www.caaws.ca

Contact: N202 - 801 King Edward Avenue, Ottawa, ON, Canada, K1N 6N5

Phone: +1 613 562 5667, Fax: +1 613 562 5668, Email: caaws@caaws.ca

Images and Words in Women's Sports – expert packets

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/experts/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

Miller Lite Report on Sports & Fitness in the Lives of Working Women

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/res/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

Miller Lite Report on Women in Sports

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/res/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

□

Participation Statistics – expert packets

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/experts/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

Researching and Writing on Women's and Girls Sport

www.wsf.org.uk/publications.htm

Contact: 305-315 Hither Green Lane, Lewisham, London, SE13 6TJ

Tel/fax: +44 20 8697 5370, Email: info@wsf.u-net.com

□

Sports in the Lives of Urban Girls: A Resource Manual for Girls' Sports in Urban Areas

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/guides/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

□

The Women's Sports Foundation Report: Addressing the Needs of Female Professional and Amateur Athletes

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/res/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

Women and Sport Information Pack (2000)

www.wsf.org.uk/publications.htm

Contact: 305-315 Hither Green Lane, Lewisham, London, SE13 6TJ

Tel/fax: +44 20 8697 5370, Email: info@wsf.u-net.com

Women's Sports Experience

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/ed/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

Women's Sports Facts

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/ed/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com

Women's Sports Foundation Report: Minorities in Sports

www.womenssportsfoundation.org/cgi-bin/iowa/shop/res/index.html

Contact: Women's Sports Foundation, Eisenhower Park, East Meadow, NY 11554

Phone: +1 800 227 3988 (U.S. only), +1 516 542 4700, Fax: +1 516 542 4716, Email: wosport@aol.com